

令和3年度

# 事業報告及び決算書



公益財団法人  
するが企画観光局



## 目 次

事業報告	1
貸借対照表	39
正味財産増減計算書	40
正味財産増減計算書内訳表	42
財務諸表に対する注記	44
附属明細書	46
財産目録	47
資金調達及び設備投資の実績を記載した書類	48
監査報告書	49



# 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

## 1 法人の概況

### (1) 設立年月日

- 平成7年9月28日 「財団法人静岡コンベンションビューロー」設立  
平成19年4月1日 静岡市観光協会と統合し、「財団法人静岡観光コンベンション協会」に名称変更  
平成25年4月1日 「公益財団法人静岡観光コンベンション協会」へ移行  
平成28年4月22日 日本版DMO候補法人として登録(観光庁)  
平成29年10月1日 「公益財団法人するが企画観光局」に名称変更  
平成30年3月30日 日本版DMO法人として登録(観光庁)  
平成30年6月26日 静岡事務所を「静岡市葵区日出町1番地の2」に移転

### (2) 定款に定める目的

この法人は、静岡県中部・志太榛原地域の文化的、社会的、経済的特性等を活用し、観光関連産業の振興と交流人口拡大による地域経済の活性化を促進するとともに、国際的な相互理解の増進、文化の向上及び豊かな人間性に根差した社会の創造に寄与することを目的とする。

### (3) 定款に定める事業内容(公益目的事業、収益事業等)

- ① 地域ブランドの価値向上に向けた地域戦略の策定及び周知
- ② 国内外へのプロモーションの実施
- ③ 地域内の周遊促進と受入環境の整備
- ④ 観光関連サービスや地域産品等の企画開発及びその支援
- ⑤ 観光客及びMICEの誘致及び支援に関する事業
- ⑥ 観光施設等の管理運営及び地域産品等の販売
- ⑦ 旅行業法に基づく旅行業
- ⑧ その他この法人の目的達成に必要な事業

### (4) 会員の状況

種類	前年度末	当年度末	増減
賛助会員	445	429	▲16

### (5) 主たる事務所・従たる事務所の状況

名称	所在地	所管区域・事業内容など
静岡事務所 (本部)	静岡市葵区日出町1番地の2 TOKAI 日出町ビル9階	DMO事業 (静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、 牧之原市、吉田町、川根本町) MICE事業 (静岡市、焼津市、藤枝市、島田市) 静岡市観光振興事業 収益事業、総務(法人運営)
清水事務所	静岡市清水区辻1丁目1番3-103号 アトラス清水駅前1階	静岡市観光振興事業(主に清水区) 収益事業

※従たる事務所はなし

(6) 役員等に関する事項

① 理事

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬の有無	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	田辺信宏	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(一財)静岡市国際交流協会会長他
副理事長	久保田隆	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	静岡市ホテル旅館(協組)理事長 静岡市料理飲食業(協組)理事長他
副理事長	大須賀紳晃	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	株式会社静岡新聞社代表取締役社長 (一財)静岡県年金福祉協会理事長他
専務理事	池田文信	R3.6.10～R5.(注)	常勤	有	(公財)静岡市まちづくり公社理事他
理事	浦田学	R4.3.7～R5.(注)	非常勤	無	(一社)清水みなとまちづくり公民 連携協議会監事
〃	大本裕一	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	岡村 渉	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)静岡市文化振興財団理事他
〃	神田優一	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	大井川玉石採取(協組)理事長他
〃	北川雅之	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(福)島田市社会福祉協議会評議員他
〃	杉浦 衛	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(福)藤枝市社会福祉協議会評議員他
〃	鈴木靖和	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	田形正典	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	田中義臣	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	島田市土地開発公社常務理事
〃	中野裕文	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	中山孝宏	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	
〃	西村 等	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	富士山静岡空港(株)代表取締役社長
〃	野村一正	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)静岡県コンテナ輸送振興協会 評議員他
〃	松永秀昭	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)静岡産業振興協会評議員他
〃	村松悌三朗	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	(公財)焼津市振興公社理事
〃	八木健祥	R3.6.10～R5.(注)	非常勤	無	静岡県公立大学法人静岡県立大学大学院経 営情報イノベーション研究所研究科長

(注) 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現理事は令和4年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

## ② 監事

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬の有無	他の法人等の代表状況等
監事	佐藤正欣	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	有	労働保険事務組合 静岡総合労務センター副理事長
〃	西ヶ谷博行	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	有	(公財)静岡県私立幼稚園退職基金財団監事
〃	吉田雄一	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	有	全国水産加工業協同組合連合会監事

(注) 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現監事は令和7年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

## ③ 評議員

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬の有無	他の法人等の代表状況等
評議員	岩崎浩季	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	しずおか焼津信用金庫理事
〃	梅島 毅	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	
〃	大井一郎	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	株式会社ドリームプラザ代表取締役社長他
〃	川井敏行	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	静岡鉄道株式会社代表取締役社長他
〃	川本晋輔	R3.8.20～R7.(注)	非常勤	無	静岡信用金庫常勤理事他
〃	久保田倫生	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	
〃	小阪秀彦	R3.8.20～R7.(注)	非常勤	無	(公財)静岡産業振興協会理事
〃	関根俊介	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	ファイブパートナーズ(株)取締役
〃	都築東一郎	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	株式会社 JTB 静岡支店長
〃	都築直哉	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	
〃	原田佳典	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	(一社)吉田町まちづくり公社監事
〃	望月哲也	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	(一財)静岡市国際交流協会評議員他
〃	本柳 純	R3.11.30～R7.(注)	非常勤	無	近畿日本ツーリスト株式会社静岡支店長
〃	桃瀬弘明	R3.11.30～R7.(注)	非常勤	無	スルガ銀行株式会社静岡支店長
〃	吉永浩己	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	
〃	若林紀伸	R3.6.10～R7.(注)	非常勤	無	(公財)浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー評議員他

(注) 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現評議員は令和7年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

④ 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
大石 剛	理事	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
小梁 金男	理事	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
榊原 昇次	理事	令和3年6月10日	任期満了に伴う退任
塩原 博	理事	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
望月 哲也	理事	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
谷河 範夫	理事	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
西尾 明浩	理事	令和4年3月7日	一身上の都合により辞任
今田 智久	評議員	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
大石 貴生	評議員	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
中島 功	評議員	令和3年6月10日	任期満了に伴う退任
深澤 亘英	評議員	令和3年4月15日	一身上の都合により辞任
三浦 忠司	評議員	令和3年4月30日	一身上の都合により辞任
村松 重治	評議員	令和3年8月20日	一身上の都合により辞任
山口 豊	評議員	令和3年8月20日	一身上の都合により辞任
大石 裕之	評議員	令和3年11月30日	一身上の都合により辞任
前川 雄樹	評議員	令和3年11月30日	一身上の都合により辞任

⑤ 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	20名	4,778千円	専務理事
監事	3名	30千円	
評議員	16名	0円	
合計	39名	4,808千円	

(注) 理事及び監事の報酬限度額は、平成25年4月26日開催の第1回臨時評議員会において、理事は年額600万円以内、監事は年額30万円以内と決議されている。

(7) 職員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長兼調査戦略室長	渡辺一弘	R2.4.1	事務局統括	重要な使用人
事業推進本部長 CMO 兼プロモーション部長	岩崎昌登	R3.4.1	事業推進本部及び プロモーション部統括	プロパー職員 (マーケティング責任者)
総務部長	石原敦子	H30.4.1	総務部統括	プロパー職員

総務部 主任	山本達郎	R3.4.1	総務	プロパー職員
調査戦略室 主幹	鈴木新一郎	R3.4.1	調査分析／戦略策定	静岡市から出向
プロモーション部 主幹	石田太一郎	R3.4.1	プロモーション／MICE	プロパー職員
地域連携部長	杉山美樹江	R3.4.1	地域連携部統括	プロパー職員
地域連携部 主任	伴野翔平	R3.4.1	静岡市観光振興事業	静岡市から出向
清水事務所長	小林洋子	R2.4.1	清水事務所統括	プロパー職員

(注) その他、主事4名、嘱託2名、企業出向3名、パート10名

## 2 事業の状況

### (1) 事業の経過及びその成果

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、政府の3度にわたる「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」の発令による飲食店への時短、休業要請等により、国内の経済活動は停滞し続けました。その後、ワクチン接種が進み、10月頃から年末にかけて新規感染者数が底を打ち、経済活動が正常化する兆しが見えたと思われましたが、年明けからオミクロン株が猛威を奮い、再び観光自粛ムードが漂う中、観光事業者はさらなる深刻な状況に追い込まれる事態となりました。

このような状況の中、当財団のミッションである「静岡県中部地域の観光産業振興により、来訪者の人数・消費単価の拡大を図り、住民の豊かな暮らしの実現に貢献する。」に向け、将来的なあるべき姿として、5市2町における「観光シンクタンク」と「地域のつなぎ役・まとめ役」機能を持つ観光マーケティングのプロフェッショナルを目指すため、調査戦略室を令和3年4月に新設し、中部地域への「来訪者調査」、観光関連事業所の受入環境や経営方針に関する「実態調査」、コロナ禍の景況感や経営状況を測る「景況調査」を実施し、地域の現況の把握に努めました。

また、中部地域全体の観光WEBサイト「Visit SURUGA」の開設、WEBサイトのコンテンツと連動し、静岡県外、海外をターゲットとしたInstagram「Visit SURUGA」の運用、インスタ映えをする地元の旬の話題等、圏域、静岡県内をターゲットとしたInstagram「suruga\_traveler<するとら>」の継続等、テーマ性のある地域ブランディング活動に注力しました。

Learn、Tea、Sea については、「MANAVIVA!」の体験プログラムを充実させ、アカウント登録が倍増、「茶の間／ティーテラス」は先行施設が自走化するとともに新規施設も開業しました。

また、「茶氷」は、参画店舗が拡大し、「勝魚かつ」は、合格祈願キャンペーンを展開しました。

MICE 事業としては、昨年度に続き国内外の商談会の多くが中止となりましたが、オンラインで開催されたバーチャル商談会に積極的に参加し、継続的なコミュニケーション及び情報交換を行いました。さらに、MICE 専用多言語 WEB サイトの改善、おもてなしクーポン券とグルメ&ナイトマップのWEB化等、デジタルツールの強化を実施しました。

静岡市観光振興事業につきましては、昨年8月に開通した中部横断自動車道の開通により集客が期待できる長野県と山梨県エリアにおいて、交流都市などで開催される観光展への出展や、新聞等マスメディアを活用した宣伝活動の実施や、昨年度からの継続事業として、音声ガイドを聞きながら中部地区の東海道を巡る非接触型観光の普及促進に努めました。

## 公益目的事業

### 1 DMO事業

経営計画に基づく KPI		
	令和3年度（目標値）	令和3年度（実績）
目的地想起率	0.07%	0.05%
宿泊客数	2,505 千人泊	調査集計中
宿泊客消費単価	27,000 円	調査集計中
宿泊観光経済	67,627 百万円	調査集計中
観光地域づくり法人（DMO）の登録要件である必須 KPI		
	令和3年度（目標値）	令和3年度（実績）
旅行消費額	740 億円	調査集計中
延べ宿泊者数	1,800 千人	調査集計中
来訪者満足度	41.0%	調査集計中
リピーター率	66.0%	調査集計中

#### （1）調査分析／戦略策定

##### 【目的】

観光地域づくり法人（DMO）として、当地域における観光関連の施策や事業が戦略的に展開されるよう、地域の実状を把握するための調査分析を行うとともに、それらを集約・整理する。

また、各市町や観光関連事業者など当地域のステークホルダーと事業計画の目標達成に向けた取組方針を共有し、それぞれの事業との連携・調整を図ることにより、地域一体となった事業が展開されるよう努める。

##### 【年度 KPI】

- ・当財団独自調査（来訪者調査、事業者景況調査、事業所実態調査）の実施、公表
- ・「するが観光レポート」の作成、公表

##### 【当期間の活動及び成果】

#### ① 観光客・観光事業者基礎調査

##### ア 来訪者調査

来訪者の属性、満足度、消費動向等を把握し、施策検討に活用するためのアンケート調査。第1回となる秋季調査（10/21～11/23）では、中部地域全体で約130施設の協力を得て、2,000以上のサンプルを収集し、その集計・分析を行った。また、冬季調査（1/20～2/23）では、まん延防止等重点措置により回収が懸念される中1,800程度のサンプルを収集した。各回の調査結果は、当財団WEBサイトで公表するほか、協力施設には施設別の集計結果をフィードバックし、持続可能な調査体制の構築に努めた。なお、令和4年度からは協力施設の負担軽減や効率化と回収数の向上による調査内容の充実のため、紙の調査票を廃止してWEB回答に一本化するとともに、通年回答可能とする。

##### イ 事業者景況調査

圏域内の観光関連事業者の景況感や経営状況を把握するためのアンケート調査。6月分調査を皮切りに約330事業者を対象に毎月実施し、平均して約150事業者（回収率45%）から回答を得て、集計・分析した。調査結果は、経済対策や要望活動の参考としていただくことを念頭に関係の行政、観光団体、商工団体に提供し、11月分調査からは調査結果（速報値・確報値）を当財団WEBサイトでも公表した。

#### ウ 事業所実態調査

圏域内の観光関連事業者の施設ごとの売上規模や客層、受入環境、プロモーション活動等の実態を把握するためのアンケート調査。12月に中部地域の1,000以上の事業所を対象に調査票を発送し、365事業者（回収率33%）から回答を得て、集計・分析した。調査結果は、当財団WEBサイトでも公表した。

#### エ ブランド力調査

当地域の観光地としての認知度等を把握するためのアンケート調査。2月下旬にインターネットで全国約1万人から回答を得て、集計・分析した。純粋想起率（「行ってみたい観光地は？」の問いに当地域の観光地・スポットが上がる割合）や当財団事業（MANAVIVA!、茶氷など）の認知度を調査し、KPIの把握や取組の成果を確認した。

### ② ステークホルダーマネジメント

#### ア 5市2町連絡会

市町観光部局との情報共有や意見交換の場として、四半期に一度連絡会を開催した。

連絡会では、DMO事業の取組状況の報告のほか、コロナ禍に対応する緊急経済対策等に関する情報交換を行い、5市2町との連携・調整を図った。

#### イ 事業者向けセミナー等の開催

新型コロナウイルスの感染拡大により事業継続計画（BCP）の必要性が高まっていることを踏まえ、「観光危機管理・事業継続力強化研究会（日本商工会議所、（公社）日本観光振興協会の共同設置）」のモデル地区事業に応募し、採択され、同研究会とともに観光事業者向けのワークショップを開催した。

ワークショップには、観光関連の事業者や団体から18名が参加し、観光業界の特徴を踏まえた専用のモデルBCPを基に、具体的な内容の検討と作成作業に取り組んだ。

## （2） destinationブランディング

### 【目的】

当地域の課題である認知度向上に向けて、一貫したコンセプトに沿った情報提供、SNS運用による関心の喚起、深化、個別事業での広告展開やパブリシティの獲得による露出の増加を通じて、観光目的地としてのブランディング（観光需要づくり）を推進する。

- ・お茶の多様性のある地域
- ・日本一深い駿河湾の恵みとそれを享受する暮らし
- ・今川・徳川から続く伝統工芸／文化／歴史

### 【当期間の活動及び成果】

これまで開発した「茶の間」「茶氷」等のコンテンツを活かしつつ、観光目的地としてのブランディング（観光需要づくり）を推進するための方向性検討期間とした。

行政区域ごとではなく、お茶、駿河湾の恵みや伝統工芸などのテーマを軸として、市場と地域を繋ぐ中部エリアのポータルサイトの改善及び機能向上、そのポータルサイトへ誘導する一つのツールであるInstagramの立ち上げと、アナログ（紙）媒体への露出を図り、ポータルサイトと連動したプロモーションの実施、既存Instagram「するとら」のフォロワー等分析による、今後の運用方針の策定を行った。

#### ① するが地域WEBサイト・Instagram「Visit SURUGA」

当地域の課題である認知度向上に向けて、行政区域ごとではなく、お茶や歴史などのテーマごとに観光情報を集約、一元化する多言語ポータルサイト「Visit SURUGA ~boundless green~」の改善を行った。

ア ユーザビリティ改善

サイト内のカテゴリー・構成・配置の改善により使いやすい動線に改善したほか、それに合わせてフォントサイズやデザインなど基本的事項の修正を行った。

また、モバイル端末での使用を考慮し、読み込みスピードの改善も行った。

イ SEO 対策の実施

Google で上位表示されることを目指し、表示されるタイトルと説明文を修正した。

ウ 多言語化の実施

インバウンド回復の順序を考慮して中国語（繁体字）から対応し、英語は3月末までに対応した。

エ 市町との連携

各市町の観光 WEB サイトとのリンクを設定した。また、令和3年11月から、Instagram 公式アカウントのソフト運用を開始した。

※ アカウントは日本語・英語併記「visit\_suruga.jp」、中国語（繁体字）「visit\_suruga.tw」  
公式 Instagram 「Visit SURUGA」にて、当局が厳選した公式スポット・体験等を紹介し、当ポータルサイトへの誘導を図った。

② SNS (Instagram) 「suruga\_traveler<するとら>」

Instagram でインスタジェニックな、地元の旬の話題、新しいするがエリアの情報等「旅への決心につながる環境づくり」と「行きたくなるコンテンツ紹介」を行った。

また、投稿ごとの反響について要因を分析し、エンゲージ率を維持しつつ、各市町と連携した情報発信を行う等、フォロワーの多い圏域内の周遊促進につながる運用方針を策定した。

③ コンテンツ拡充

ア モデルルート作成

10月にサイクルツーリズム、11月にドライブツーリズムをテーマにファミトリップを実施した。(計2回)

イ 写真等デジタル素材の撮影

2月の大手小町・クウネルサロンのメディア取材と合わせ、テーマに沿った素材撮影を行った。また、3月末は、藤枝のティーテラス取材と合わせ、季節感（桜）のある素材撮影を行った。これらのデータは、取材を伴わないメディア露出や旅行会社によるパンフレットへの掲載などで使用できるツールとして使用する。

④ 「令和3年度訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金」を活用した事業

観光庁に申請した「令和3年度訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金（補助率1/2）」について、7月29日付で交付決定したため、下記のとおり実施した。

総事業費 9,057,400 円

補助金額 4,528,700 円

対象事業 ア 滞在コンテンツ造成事業

BtoB、BtoC 向け商品の販売開始を目標とし、有識者のアドバイスを受け、令和2年度と同名事業にて実施した台湾市場向けコンテンツの磨き上げを行った。

イ 受け入れ環境整備事業

令和2年度の同名事業にて制作したポータルサイトを、台湾市場向けにリ  
ライトや翻訳を実施した。

ウ 旅行商品流通環境整備事業

上記コンテンツ造成事業で造成した商品を、台湾市場を強みとする OTA、  
静岡県観光協会の商品棚等で販売できるように準備した。

委託業者 株式会社 J T B 静岡支店

契約期間 令和3年8月2日から令和4年3月18日まで

(3) Learn、Tea、Sea

① Learn

【目的】

静岡県中部地域 DMO 事業である Learn 戦略のコンテンツ「MANAVIVA!」に関して、事  
業者と連携した商品造成、及び県内外へのプロモーションを実施し、その認知、興味・関心  
を高め、静岡県中部地域全体の観光目的地としてのブランド価値を高めることを目的とする。

【年度 KPI】

- ・ MANAVIVA! 掲載商品 : 40 件
- ・ MANAVIVA! 体験人数 : 4,000 人
- ・ MANAVIVA! 売上金額 : 2,100 万円

【年度 KPI 下方修正】

新型コロナウイルスの影響で令和3年4月～9月まで全国的に緊急事態宣言が発令され  
たことや、令和4年1月から3月まで静岡県内でまん延防止措置が発令され、外出自粛ムー  
ドが高まるとともに、SNS 広告の投稿を自粛したこと。

また、例年より梅雨の期間が長く（梅雨入り5月16日～例年より25日早い）外出の予  
定が立てづらい期間が続いたことで予約数が伸び悩んだことを鑑み、当初の目標を下方修正  
した。

【下方修正後の年度 KPI】

- ・ MANAVIVA! 掲載商品 : 40 件
- ・ MANAVIVA! 体験人数 : 2,200 人
- ・ MANAVIVA! 売上金額 : 1,155 万円

【年度 KPI 達成率】

- 59 件（達成率 148%）
- 672 人（達成率 30.5%）
- 2,869,020 円（達成率 24.8%）

※8月20日（金）～9月30日（日）の緊急事態宣言期間中は、新規予約受付停止。

【当期間の活動及び成果】

新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、オンライン体験を再リリース・リピーターの  
増加及び夏休みの需要期に向けてステップアップ型の商品を造成した。

夏休みに向けては5市2町の小学校にチラシを配付し、集客増加を図った。58,940人の小  
学生にリーチしチラシのQRコードは1,723回読み込まれ、117人がID新規登録した。

また、9月24日（金）IAI スタジアム日本平で行われたエスパルスホームゲームの試合  
開始前に、大型ビジョンにて当日の入場者数約7,300名に向けて「MANAVIVA!」を告知し  
た。

秋には静岡県東部、中部、西部の公立小学校にチラシ（約10万枚）を配付した。

冬にはユーザー登録者1,000人突破記念として「新規アカウント登録で2,000円分ポ  
イントプレゼントキャンペーン」を展開するとともに、県内一部エリアにチラシをポステ  
ィングした。

また、春休みに向けては静岡県東部、中部、西部の公立小学校及び中部の県立、私立小学校にチラシ（約 10.3 万枚）を配付し、集客増加を図った。102,540 人の小学生にリーチしチラシの QR コードは 1,698 回読み込まれ、91 人が ID 新規登録した。

上記取組みを通して、累計登録アカウント数は 1,220 名、令和 3 年度の予約人数は 993 名、体験人数は 672 名となった。

## ② Tea

### 【目的】

静岡県中部地域 DMO 事業である TEA 戦略のコンテンツ「茶の間」「茶氷」に関して、企画運営及び県内外へのプロモーションを実施し、その認知、興味関心を高めつつ集客を促進し、静岡県中部地域全体の観光目的地としてのブランド価値を高めることを目的とする。

### ア 茶の間

#### 【(当初) 年度 KPI】

- ・茶の間 設置数：7か所  
体験人数：7,000 人  
売上金額：2,800 万円

#### 【(修正) 年度 KPI】

茶の間（既存 5 箇所）については、茶農家からの要望を受けて令和 3 年 7 月 1 日から自走運営しているため、当初の目標を下方修正した。新規設置については、藤枝市が令和 4 年 3 月 30 日完成、島田市は令和 4 年 7 月設置に向けて調整中である。

- ・茶の間（既存） 設置数：5か所  
体験人数：5,200 人  
売上金額：1,560 万円
- ・茶の間（新規） 設置数：2か所  
体験人数：75 人  
売上金額：225,000 円

#### 【当期間の活動及び成果】

4 月～6 月は茶農家による自走に向けた準備を進めつつ、民間事業者と連携して、これまでどおり運営、コロナの状況に応じたプロモーションを展開した。4 月は緊急事態宣言を受けて一部受入を停止したが、6 月までの予約人数は 2,477 名、体験人数は 1,224 名となった。

新規設置については、藤枝市は令和 4 年 3 月 30 日完成。島田市は令和 4 年 7 月設置に向けて調整している。また、新設茶の間完成まで期間が空くことから、市場における認知を維持するため、下記のとおりメディアへの露出を行った。

### 紙媒体

媒体名	発行元	掲載時期	記事タイトル	ボリューム	発行部数	広告換算
はれ予報	しんきんカードグループ	R3.12.10	極上の一服を五感で堪能する お茶テロワールを楽しむ駿河	カラー4P	175,000 部	3,200,000 円
するーかる	株式会社するーらいふ	R4.3.29	開放感あふれる完全予約制プライベートテラスでお茶を味わう、ちょっと幸せなひとときを	カラー2P	60,000 部	410,000 円

## オンラインメディア

媒体名	発行元	掲載時期	記事タイトル	月平均PV数	広告換算
大手小町	株式会社 読売新聞	R3.11.30	「お茶テロワール」を楽しむ駿河の旅へ、至極のカフェ巡り	1,569,000PV	2,100,000円
大手小町	株式会社 読売新聞	R4.3.18	駿河の旅で再発見！ 早春の新しい「お茶活」で心を満たす	1,569,000PV	2,100,000円
クウネル・サロン	株式会社 マガジンハウス	R4.3.29	ティーペアリング・抹茶書・茶染め。駿河で出会った新しいお茶の愉しみ方	2,422,850PV	1,500,000円
クウネル・サロン	株式会社 マガジンハウス	R4.3.30	豊かな自然と歴史に育まれた駿河文化に触れる、大人の春旅	2,422,850PV	1,500,000円

## イ 茶氷

### 【年度 KPI】

- ・茶氷 参画事業者数 40 店舗（中部）  
販売数 6 万杯（中部）

### 【当期間の活動及び成果】

茶氷については、民間事業者と連携し、参画店舗の呼びかけを実施した。中部地域で 39 店舗が参画し、県全域では 71 店舗が参画した。当期間はクロスメディア展開による幅広いプロモーションを実施することで、9 月以降の売り上げを伸ばすことに成功した。しかし、全体としては 8 月の長雨や例年よりも涼しい気候、緊急事態宣言の発令などが影響し、昨年度よりも売り上げを落とす結果となった。7～9 月の売上杯数は、33,732 杯（中部）となった。

## ③ Sea

### 【目的】

地域特産の水産資源と、地名を結びつける投資効果の高い話題作りを行うことで、地域産品のブランディングを図る。

### 【年度 KPI】

- ・勝魚かつ参画事業者 15 店舗

### 【当期間の活動及び成果】

『勝魚かつキャンペーン』参画事業者 15 店舗

### 【当期間の活動及び成果】

期 間 令和 3 年 12 月 4 日（土）～令和 4 年 3 月 13 日（日）

内 容 勝魚かつ参画店を巡るキャンペーンを実施。イベント内容の企画、参画店舗の募集等を行い 15 店舗の参画（焼津市内 14 店舗、静岡市内 1 店舗）となった。

景品の一つであるオリジナルポストカードは、「焼津神社」と「かえるのる〜くん」でおなじみのイラストレーター「やまむらともよ氏」とコラボした限定グッズとした。

企画については、12 月 10 日には、焼津市長への表敬訪問・試食会の実施や当企画は地上波の情報番組（テレビ静岡「ただいま！テレビ」）等でも取り上げられた。

(4) セミナー、講演会及び研修会等での講師等依頼

① 静岡の宝物グランプリ 2021-2022

期 間：令和4年1月17日（月）～18日（火）

会 場：エスパルスドリームプラザ

主 催：しずてつジャストライン株式会社

審査員：事業推進本部長 CMO 岩崎昌登



② 令和3年度農泊実践研修会

開 催 日：令和4年2月18日（金）

会 場：ペガサート CSA 貸会議室3階（Zoomにて同時配信）

主 催：静岡県観光政策課

参 加 者：38名

テ ー マ：「遊んで学べる体験予約サイト MANAVIVA!のプロデュース」

講 師：事業推進本部長 CMO 岩崎昌登

③ EC サイト翻訳

事 業 者：カネ十農園株式会社（牧之原市）

内 容：上記事業者の英語圏のインバウンド向け EC サイトについて、直訳ではなくネイティブに伝わりやすい表現で翻訳し、修正案を提示した。

※ カネ十農園…1888年創業の静岡県牧之原市の茶農園。

収穫直後に自社の製茶場で加工する一貫生産のスタイルで、デザイン性の高いパッケージの茶葉の販売や、表参道に日本茶のティーサロンを作るなど、日本茶文化を広めている。

## 2 MICE事業

経営計画に基づく KPI		
	令和3年度（目標値）	令和3年度（実績）
セールス件数	200 件	395 件
新規 MICE 開催件数	20 件	11 件
MICE 支援件数	50 件	46 件
外国人宿泊者数	—	—

### (1) MICE 情報収集・発信事業

#### 【目的】

最新の MICE 関連情報を収集すると同時に各コンベンション施設・観光施設等との情報の共有、現況把握を図りながら誘致に結実させる。

#### 【当期間の活動及び成果】

地域内の観光事業者とコミュニケーションを図り、積極的に情報収集を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、引き続き一堂に会する MICE の開催自体が敬遠される可能性があり、誘致方法やターゲット等、根本的に見直す必要があるため、JNTO、静岡県、静岡ツーリズムビューロー（TSJ）、静岡県在外事務所とも緊密に情報交換を図った。

#### 〔日本政府観光局（JNTO）・JCCB 等関連情報の収集〕

会 議 名	期 間	会 場
JNTO デジタルマーケティング担当者交流会	令和3年5月26日（水）	オンライン
JCCB 総会	令和3年6月25日（金）	オンライン
じゃらんリサーチセンター 観光振興セミナー2021（全5回）	令和3年7月6日（火） 令和3年7月9日（金） 令和3年7月13日（火） 令和3年7月16日（金） 令和3年7月21日（水）	オンライン
JNTO MICE セミナー ～中級～	令和3年8月10日（火）～11日（水）	オンライン
2021 年度「JNTO 国際会議誘致・開催支援」に関するウェビナー	令和3年9月2日（木）	オンライン
JNTO インバウンド旅行振興フォーラム	令和3年9月14日（火）～15日（水）	オンライン
第8回国際観光コンベンションシンポジウム	令和3年10月12日（火）、26（火）	オンライン

#### ① メールによる情報発信

海外商談相手に対しての継続的な情報発信や、賛助会員に対して国内外のタイムリーな情報や当財団の取り組みについて紹介する「SURUGA News」を発信し、情報の共有を図った。

#### 〔海外商談相手への情報発信〕

実 施 日	発信数
令和3年4月12日（月）	349 社
令和3年5月17日（月）	335 社
令和3年6月21日（金）	335 社
令和3年7月26日（月）	335 社

#### 〔SURUGA News〕

実 施 日	発信数
令和3年5月28日（金）	36 社
令和3年6月25日（火）	36 社
令和3年7月30日（金）	36 社
令和3年8月31日（火）	36 社

令和3年8月30日(月)	327社
令和4年1月5日(水)	390社

令和3年9月30日(木)	36社
令和3年10月29日(金)	36社
令和3年11月30日(火)	36社
令和3年12月28日(火)	36社
令和4年1月31日(月)	36社
令和4年2月28日(月)	36社
令和4年3月31日(木)	36社

## ② MICE 連絡会の開催

圏域内のコンベンション施設担当者と誘致及び開催情報、施設の改修工事計画等の共有及び情報交換を行い、連携を深めた。開催実績は下記のとおり。

[MICE 連絡会の開催]

会議名	開催日	開催場所	参加者
第1回 MICE 連絡会	令和3年7月2日(金)	グランシップ	11

## ③ インバウンド誘致に係る観光事業者との情報交換会

インバウンド誘致に積極的な観光事業者との情報交換会を開催し、当財団の組織改編及び今年度の取組みについて説明し、各事業者の近況等について情報共有を行った。

開催日：令和3年4月23日(金)

会場：覚弥別荘

参加人数：28名(現地参加：20名、オンライン参加：8名)



## (2) MICE 誘致事業

### 【目的】

国内 MICE においては、JNTO・JCCB や県、市などの MICE 関係機関との連携をさらに強化し、学会事務局への積極的な訪問、地域の大学訪問等により誘致取組の強化・拡充を図る。海外 MICE においては、JNTO や県、市などのインバウンド関係機関との連携をさらに強化し、国内・海外での商談会に積極的に参加して外国人観光客誘致を図る。

### 【年度 KPI】

・セールス件数 200 件  
 ・新規 MICE 開催件数 80 件  
 ・外国人宿泊者数 70,000 人

### 【年度 KPI 達成率】

・80 件(国内)、315 件(海外) 計 395 件 197.5%  
 ・11 件 13.8%

### 【当期間の活動及び成果】

学会事務局や大学訪問等が困難な状況である中、WEB サイトやメール、電話等により学会・大会情報を収集し、またオンライン商談会にも積極的に参加し、関係性の構築を図った。

#### ① 国内外の見本市出展及び MICE 商談会への参加・現地セールス

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、JNTO 等が予定していた国内外の見本市及び商談会は軒並みオンラインで開催されるようになったが、積極的にオンライン商談会や海外オンライン観光フォーラムに参加し、After コロナ、With コロナを見据えたデスティネーションマーケティング活動を実施した。

商談会・フォーラム名	期間	会場	件数
Virtual PATA Adventure Travel Conference and Mart	令和3年5月26日(水) ～27日(木)	オンライン (海外)	15
Travel Meet Asia MICE and Corporate	令和3年6月9日(水) ～10日(木)	オンライン (海外)	10
ふじのくに・しずおかデー	令和3年7月16日(金) ～18日(日)	福岡	—
Travel Meet Asia Northeast Asia	令和3年8月4日(水) ～5日(木)	オンライン (海外)	25
Virtual PATA Travel Mart 2021	令和3年9月2日(木) ～3日(金)	オンライン (海外)	50
JNTO フランス 「Japan Online Workshop」	令和3年9月21日(火)	オンライン (海外)	10
中部横断自動車道開通記念 静岡市観光PR事業	令和3年10月13日(水) ～18日(月)	山梨	—
JNTO Japan Luxury Showcase 2021	令和3年10月25日(月) ～29日(金)	オンライン (海外)	9
ITB Asia 2021	令和3年10月25日(月) ～29日(金)	オンライン (海外)	56
JNTO インセンティブ旅行 オンライン商談会(タイ)	令和3年11月2日(火)	オンライン (海外)	8
Expat Expo 2021 ※Expat=在日外国人	令和3年11月5日(金) ～6日(土)	東京	—
JNTO インセンティブ旅行 オンライン商談会 (マレーシア・フィリピン共和国)	令和3年11月9日(火)	オンライン (海外)	10
JNTO インセンティブ旅行 オンライン商談会(インドネシア)	令和3年11月17日(水)	オンライン (海外)	8
静岡物産フェア	令和3年12月4日(土) ～5日(日)	長野	—
JNTO インセンティブ旅行 オンライン商談会(シンガポール)	令和3年12月7日(火)	オンライン (海外)	8
JNTO 国際会議オンライン商談会 (シンガポール)	令和3年12月8日(水)	オンライン (海外)	5
JNTO 2021年度マレーシア市場 オンライン訪日旅行セミナー (クアラルンプール)	令和3年12月8日(水)	オンライン (海外)	12
JNTO 東京本部事務所 (海外プロモーション部、MICEプロモーション部)	令和3年12月16日(木)	東京	2
風の旅行社	令和3年12月16日(木)	東京	1

Japan Travel 株式会社	令和3年12月17日(金)	東京	1
株式会社ロコパートナーズ	令和3年12月17日(金)	東京	1
東急株式会社	令和3年12月17日(金)	東京	1
JNTO マレーシア市場 オンライン訪日旅行セミナー(地方都市)	令和4年1月19日(水)	オンライン (海外)	10
静岡県インバウンド旅行商品商談会	令和4年2月3日(木)	オンライン (国内)	5
JNTO インドネシア 「オンライン訪日旅行商談会」	令和4年2月14日(月) ～16日(水)	オンライン (海外)	5
IME2022 オンライン	令和4年2月16日(水) ～17日(木)	オンライン (国内・海外)	12
JNTO Visit Japan トラベルマート	令和4年3月1日(火) ～3日(木)	オンライン (海外)	40
JNTO 米国アウトドア・アドベンチャー 旅行商談会 2022	令和4年3月9日(水) ～10日(木)	オンライン (海外)	20
台湾における静岡県観光オンライン商談会	令和4年3月15日(火)	オンライン (海外)	6
		合計	330

## ② 首都圏等における戸別訪問

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令によって、MICE 関連団体の本部事務局や PCO、旅行会社が在宅勤務等の業務形態になったため、9月末まで訪問することができなかった。そのため、これまでに付き合いのある MICE 関連団体とのつながりを継続させ、新規 MICE 開催情報を得るために、従来付き合いのある MICE 各種団体の本部事務局や PCO、旅行会社、大学の先生方に対してお茶パックと新設した「しずおかコンベンションビューロー」のウェブサイトの情報を掲載したメッセージカードを郵送した。

送付先	実施日	送付件数
東京都内・静岡市・名古屋市・岐阜市	令和3年6月21日(月)	53件
東京都内・静岡市・名古屋市・岐阜市	令和3年12月24日(金)	60件



お茶パックと旅行業界の回復を願ったメッセージカード



年末のごあいさつで配布したカレンダー

また、9月末の緊急事態宣言解除後、首都圏でのコロナウイルスの感染状況が抑制されつつあったため、10月から12月にかけて首都圏の大会主催者や PCO・旅行会社を対象に訪問セールスを行った。併せて、今後のコンベンション開催状況等についてヒアリングを行った。

訪問先	実施日	訪問件数（事務局）
東京都内	令和3年10月15日（金）、22日（金）、29日（金）	26件
東京都内	令和3年11月15日（月）、16日（火）、26日（金）	20件
東京都内	令和3年12月3日（金）、15日（水）、16日（木）	19件

③ ファムトリップ受け入れ（※ファム＝Familiarization（慣れ親しませる）の略）

海外の旅行会社の訪日旅行責任者を当地域に招聘した。外国人の支店から観光資源や受け入れ体制に関する評価を受け、旅行商品の造成に結び付けるため、下記のとおり受入を実施した。

招請者・団体名	国籍	種類	受入日	人数	場所
Team Travel Kuramoto ※美しい伊豆創造センター と協働	日本	旅行会社	12/13~17	1	駿河湾フェリー、ホテルアソシア静岡、覚弥別荘、小川港、ホテルアンビオ松風閣、志戸呂焼き彦次窯、川根茶つちや農園、大井川鉄道、玉露の里、駿府の工房 匠宿、丁子屋、三保松原、日本平夢テラス、日本平ホテル

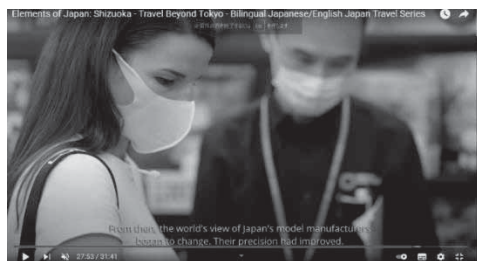
④ 在静外国人、在静日本人による情報発信

新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外からのキーパーソンやインフルエンサーの訪日ができなくなったため、コロナ収束を見据えた誘致活動として、在静外国人、在静日本人と国内在住外国人により静岡県中部地域の魅力を発信した。

発信先国籍	種類	期間	発信件数	場所
日本	在静日本人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	55	圏域お茶関連と観光地
英語	在静外国人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	39	圏域お茶関連と観光地
フランス	在静外国人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	32	圏域お茶関連と観光地
ベトナム	在静外国人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	45	圏域お茶関連と観光地
タイ	現地外国人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	38	圏域お茶関連と観光地
マレーシア	現地外国人 ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	10	圏域お茶関連と観光地
インドネシア	在静外国人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	32	圏域お茶関連と観光地
台湾	在静外国人 SNS・ブログ	R3.5.21 ～R4.3.31	25	圏域お茶関連と観光地
			276	

⑤ 在住外国人による YouTube 番組撮影

静岡県観光協会と連携し、日本の地方の隠れた魅力を掘り起こす番組「Elements of Japan」の撮影受け入れを行い、令和3年11月5日に公開された。



⑥ ライブ配信事業

コロナ収束を見越して、訪日旅行の需要喚起を目的とした新たな情報発信の一環として、Facebook のライブ配信機能「Facebook Live」を活用し、下記のとおり実施した。

ア Fun From Home

実施日：令和3年11月27日（土）

主催：JNTO

協力：静岡県東南アジア駐在員事務所、浜松市

撮影場所：牧之原市：相良港、和食ダイニングすけろく

出演者：三浦氏（和食ダイニングすけろく）、エミリー氏、  
当局職員（増田、リチャード）

ユニークビューワー：1,964人 投稿リーチ数：87,593人

いいね！数：303件 コメント数：38件 シェア：18件



イ インドネシア旅行会社向けオンラインファミツアー

実施日：令和4年2月8日（火）

主催：株式会社ティ・エ・エス

協力：株式会社静鉄リテイリング

撮影場所：玉露の里

出演者：アグスタ氏（株式会社TAS（ティ・エ・エス））、  
当局職員（リチャード）

旅行会社数：67社



(3) MICE 支援事業

【目的】

主催者の運営サポートを行うことで、参加者の満足度向上を図る。

【年度 KPI】

・支援件数 170件

【年度 KPI 達成率】

・46件 27.1%

【当期間の活動及び成果】

実績は下記のとおり

① 国際会議誘致助成金交付事業

国際会議の誘致を促進するため、一定の条件に該当する外国人が参加する国際会議の主催者に MICE 開催経費の一部として、下記のとおり助成を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、申請を受けていた学会等が開催延期・中止となった。（合計0円）

- ア 第5回薬食国際カンファレンス 【中止】  
 期 間：令和3年11月10日（水）～12日（金）  
 会 場：日本平ホテル（静岡市清水区）  
 参加者：300名（うち外国人参加者12ヶ国70名）  
 申請金額：700,000円 ⇒ 交付金額：0円
- イ 第47回全国語学教育学会年次国際大会【オンライン開催】  
 期 間：令和3年11月12日（金）～14日（日）  
 会 場：グランシップ（静岡市駿河区） ⇒同学会事務局からのオンライン開催に変更  
 参加者：1,600名（うち外国人参加者23ヶ国144名）  
 申請金額：1,000,000円 ⇒ 交付金額：0円
- ウ 第8回バリア近傍エネルギーでの重イオン衝突に関する国際会議（FUSION20）【延期】  
 期 間：令和3年11月14日（日）～19日（金）  
 会 場：清水テルサ（静岡市清水区）  
 参加者：120名（うち外国人参加者17ヶ国82名）  
 申請金額：700,000円 ⇒ 交付金額：0円

② シャトルバス運行助成金交付事業

コンベンション参加者を最寄りの駅等から大会会場等に移送するためのシャトルバスの運行に要する経費の一部として、下記のとおり助成を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、申請を受けていた学会等が開催延期となった。（合計0円）

- ア 第5回薬食国際カンファレンス 【中止】  
 期 間：令和3年11月10日（水）～12日（金）  
 会 場：日本平ホテル（静岡市清水区）  
 参加者：300名（うち外国人参加者12ヶ国70名）  
 申請金額：94,500円 ⇒ 交付金額：0円
- イ 第8回バリア近傍エネルギーでの重イオン衝突に関する国際会議（FUSION20）【延期】  
 期 間：令和3年11月14日（日）～19日（金）  
 会 場：清水テルサ（静岡市清水区）  
 参加者：120名（うち外国人参加者17ヶ国82名）  
 申請金額：75,000円 ⇒ 交付金額：0円

③ コンベンション開催準備資金貸付事業（今年度は貸付実績なし）

貸付要件を満たす主催者に対し、開催準備資金の無償貸し付けを行う事業。

④ 歓迎モニュメントの設置や観光パンフレット等の提供による支援

ア 歓迎モニュメントの設置

設置回数 A= 14 C=11 D=9	静岡=24 焼津= 7 藤枝=1 島田=2	34 件
---------------------	-----------------------	------

イ パンフレット類提供及び有償支援

- ・駿河の国おもてなしクーポン 4,400部
- ・グルメ&ナイトマップ 1,350部
- ・コンベンションバッグ 450部

ウ 新型コロナウイルス感染症対策貸し出し支援

- ・ スタンド型アルコール消毒液器フットペダル 1回
- ・ フィジカルディスタンス確保用パネルマット（屋内外利用可能） 2回

⑤ 「駿河の國おもてなしクーポン」及び「グルメ&ナイトマップ」のWEB化

近年開催されている MICE は、ICT を活用した環境負荷の軽減やエコツーリズムを通じた環境保全に向けた啓発により、会議資料等の電子化によるペーパーレス化が進んでいるため、紙媒体で発行していた「駿河の國おもてなしクーポン」及び「グルメ&ナイトマップ」をWEB化、さらに「グルメ&ナイトマップ」にクーポン機能を搭載させ、MICE 参加者のインセンティブとなるよう掲載店舗に働きかけ、消費額の向上を図った。

⑥ 土産品 EC サイトの制作

静岡県中部地域への MICE 誘致と参加者の土産品購入による消費額の向上を目的として、オンラインで購入できる土産品の EC サイトを制作し、静岡市・焼津市・藤枝市の名産品を活用した土産品を掲載した。また、掲載した店舗に対してオンライン販売の導入支援を行った。

(令和3年度 MICE 開催支援実績)

種 別	支援回数(内国際)	参加者	左の内県外参加者(外国)
Meeting	3 (0)	570 人	80 人 (0)
Incentive	—	—	—
Convention	8 (0)	5,910 人	2,300 人 (2)
Exhibition	3 (0)	1,800 人	1,350 人 (0)
Event	3 (0)	35,700 人	3,000 人 (0)
Event (Sports)	28 (0)	14,502 人	10,276 人 (122)
合 計	46 (0)	58,482 人	17,006 人 (124)

### 3 静岡市観光振興事業

経営計画に基づく KPI		
	令和 3 年度（目標値）	令和 3 年度（実績）
WEB サイト閲覧数	1,300 千 PV	1,708 千 PV
教育旅行誘致件数	40 校	24 校
着地型商品造成数	2 本	1 本
観光案内所利用者数	50,000 人	41,016 人
船宿「未廣」来館者数	18,000 人	4,330 人
観光案内所苦情件数	0 件	0 件

#### (1) 観光宣伝事業

##### 【目的】

静岡市の魅力発信と来静者への観光案内および利便性の向上を目的とした観光パンフレットの作成や、広告媒体を利用した近隣エリアに向けての情報発信、静岡市のイメージアップを目的とした JR 東静岡駅自由通路ショーケース等での PR、特に WEB サイトによる情報提供は、新型コロナウイルス感染の終息に備え、静岡市の旬な話題や観光・イベント情報及びコンベンション支援情報をタイムリーに提供していく。

##### 【年度 KPI】

・WEB サイト閲覧数 1,300 千 PV

##### 【当期間の活動及び成果】

3 月末までの WEB サイト閲覧数 1,708,813PV（目標比 131.4%、前年同期比 94.2%）

新型コロナウイルスの影響で令和 3 年 4 月から 9 月まで全国的に緊急事態宣言が発令されたことや、令和 4 年 1 月から 3 月まで静岡県内でまん延防止措置が発令され PV 数が伸び悩んだものの、細やかな情報更新を心掛けたことや、大河ドラマ「青天を衝け」で駿府が舞台となった好影響もあり、KPI は達成することが出来た。

#### ① 観光パンフレット等作成・配布事業

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国内外からの観光客の大幅な減少、イベント中止等により観光パンフレットの配布機会が減少したが、静岡市の魅力を発信するイメージポスターや、市外からの来訪者が多い三保エリア周辺のコアな情報を紹介したリーフレットなど新規に作成した。

ア ノベルティ用 A4 クリアファイル

作成枚数：10,000 枚

イ 静岡市観光パンフレット『しずおかしるたび』改訂増刷

作成部数：30,000 部

ウ 令和 4 年版静岡市観光カレンダー

作成部数：1,300 部

エ わお！ハイウェイマップ(静岡市ロードマップ)

購入部数：10,000 枚

オ 静岡市観光 PR ポスター 3 種類 新規作成

作成部数：300 枚（3 種類各 100 枚）

※ポスターに動画配信機能を付加 令和 4 年 3 月 25 日 配信開始

- カ 清水区市街地観光 map  
作成部数：10,000 部
- キ 三保エリアパンフレット三保半島ぐるり旅 新規作成  
作成部数：11,000 部
- ク 静岡市観光パンフレット『しずおかするたび』改訂増刷  
作成部数：20,000 部
- ケ PR 用ビニールバック  
作成部数：10,000 部

新聞掲載



静岡新聞 4月5日朝刊  
(観光 PR ポスター)



中日新聞 4月8日朝刊  
(三保半島ぐるり旅)



静岡新聞 4月14日朝刊  
(三保半島ぐるり旅)

② 広告宣伝事業

ア JR 静岡駅地下道、JR 東静岡駅に設置の広告ショーケースを活用し、静岡市の PR 及びイメージ向上を図るための広告宣伝を継続して実施した。

イ 山梨日日新聞「秋の静岡イベント・レジャーガイド特集」  
静岡市の秋のイベント情報を山梨県民に向けて PR した。

掲載日 令和3年10月23日(土)

発行部数 200,000 部

ウ オクシズ PR 事業

梅ヶ島温泉郷「赤水の滝」ライトアップイベントを通して、一年を通じて集客が見込まれる秋の観光 PR のテレビコマーシャルなどを行った。

期間：令和3年10月1日(金)～11月14日(日)

本数：124 本

チラシ：5,000 部 拡大判ポスター 5 枚

エ 地域活性情報誌「イノセント 203 号」

中部横断自動車道開通を記念して山梨県民に対しても発行されることとなり、静岡市の観光情報を掲載した。

掲載日：令和4年2月13日(日)

発行部数：150,000 部

③ 情報発信事業

WEB サイトによる情報提供を実施、併せてサイトの内容の見直し等を継続し行い、閲覧数増に努めた。コロナ禍で観光需要が落ち込む中、近隣市町からの誘客を図るためにイベント情報や新しいスポット情報などを積極的に掲載することで、PV 数の維持に努めた。

## (2) 観光客誘致事業

### 【目的】

静岡市をはじめ中部エリアが有する多様かつ豊富な地域資源の商品化を図り着地型観光を推進する。これまでの観光のスタイルが行動自粛により縮小され、マイクロツーリズムが主流となり観光の形態が大きく変化している。そこで新しい観光のニーズに対応できるように、観光関連業者及び近隣の観光協会、各種団体等との連携を図りながら情報交換を行い、中部エリアへの観光客誘致に取り組んでいく。

### 【年度 KPI】

・教育旅行誘致件数 40 校

### 【当期間の活動及び成果】

実績は下記のとおり

#### ① 修学旅行等教育旅行誘致事業

ア 令和3年4月27日(火)～28日(水)

今年度、教育旅行実施予定の八王子市立小学校24校の担当教諭と教育委員会、校長会関係者29名が市内受入施設を下見した。

イ 令和3年7月29日(木)

エージェント向けモニターツアーを実施。20名が参加。

ウ 令和3年7月31日(土)～8月1日(日)

愛知県、長野県、山梨県の学校の先生向けにモニターツアーを実施し、6名が参加。

※令和3年8月16日(月)～17日(火)も7名参加を予定していたが、コロナ感染拡大のため中止。

エ 令和3年7月26日(月)、29日(木)、9月16日(木)、17日(金)

静岡県観光協会主催で、静岡県東部・西部、山梨県(オンライン)、長野県(オンライン)の学校及び旅行会社向けに静岡県中部5市2町のエリアを紹介した。

→出席者内訳(学校関係者:51名 旅行会社:60名)

オ 令和3年12月14日(火)～15日(水)に山梨県・神奈川県教育委員会(14校)、旅行会社(33社)へ静岡市への教育旅行の誘致活動をした。

#### ② 国内旅行客誘致事業

ア 福岡市「ふじのくに・しずおかデー」出展

期 間:令和3年7月16日(金)～18日(日)

会 場:福岡市博物館(福岡市早良区百道浜3-1-1)

内 容:福岡市博物館において開催された、特別展『徳川家康と歴代将軍』の開催に合わせ、「ふじのくに」(静岡県・山梨県)の観光・食・文化資源等の魅力を発信するイベント「ふじのくに・しずおかデー」に出展し、観光パンフレットの配架・配布及びポスターの掲示、SNS「するとら」フォロー促進とノベルティを配布した。

イ 山梨日日新聞「中部横断自動車開通紙面企画」広告掲載

内 容:静岡市PRと静岡市への関心を高めるために、開通記念プレゼントを企画し、応募条件として「静岡市内で行ってみたい観光地について」アンケートを実施したところ、約100件の回答があった。

※この企画のため、8月23日(月)にYBS放送にてラジオ出演し、静岡市の観光情報と上記広告掲載内容について宣伝した。

掲 載 日：令和3年8月29日（日）

発行部数：20万部（山梨県全域）カラー5段 1/2 カラー

ウ 中部横断自動車道開通記念 静岡市観光 PR 事業

期 間：令和3年10月13日（水）～18日（月）

※13日～15日観光・MICE 推進課職員従事

協 賛：(株)ドリームプラザ、富士山清水港クルーズ(株)

会 場：イトーヨーカドー甲府昭和店（山梨県中巨摩郡昭和町西条13-1）

内 容：中部横断自動車道の開通記念として（静岡－山梨間）静岡市の観光 PR 及び山梨県からの誘客を目的とし、山梨県内で実施されるグルメフェアに出展し、観光パンフレットの配架・配布、物産フェアでの購入者を対象に抽選会を実施した。（抽選会参加者1,550名）

エ 長野県「静岡物産フェア」出展

期 間：令和3年12月3日（金）～5日（日）

会 場：アイシティ 21（長野県東筑摩郡山形村山形字野尻 7977）

内 容：中部横断自動車道（静岡－山梨間）の全線開通に伴い、静岡－長野間の移動時間が大幅に短縮されたことから、長野県からの誘客及び中部横断自動車道の利用促進を目的とし、長野県内で実施される静岡物産フェアに出展し、観光パンフレットの配架・配布、アンケート回答者（406件回収）を対象に抽選会を実施した。

オ プロスポーツ（清水エスパルス）開催時観光宣伝事業

[ヴィッセル神戸戦]

実施日：令和3年9月24日（金）

会 場：IAI スタジアム日本平

内 容：清水エスパルスのホームゲーム開催日に、サポーターを対象に観光パンフレットやノベルティを配布するとともに、スタジアム内の大型スクリーンを活用し MANAVIVA! を PR した。

※令和3年8月9日（月）に予定していた横浜 F・マリノス戦での出展は悪天候のため中止とし、令和3年10月16日（土）開催の柏レイソル戦に変更した。

[柏レイソル戦]

実施日：令和3年10月16日（土）

会 場：IAI スタジアム日本平

内 容：清水エスパルスのホームゲーム開催日に、サポーターを対象に観光パンフレットやノベルティを配布するとともに、スタジアム内の大型スクリーンを活用し MANAVIVA! を PR した。

[エスパルスニュースへの広告出稿]

掲載月：エスパルスニュース 12月号

内 容：清水エスパルスが毎月発行している「エスパルスニュース」内に広告（1頁）掲載した。

[清水エスパルス WEB サイトへのニュースリリース掲載及びバナー広告の掲載]

内 容：清水エスパルスの公式 WEB サイトのトップページに、当局の WEB サイトへ誘導するためのリンクバナー広告を掲出した。また、清水エスパルスの公式 WEB サイトに観光 PR 情報として、令和4年1月7日（金）に「MANAVIVA!」、「勝魚かつ」の情報を掲載した。



【大型スクリーンによる MANAVIVA!の PR】



【臨濟寺特別拝観の様子】

カ 梅ヶ島温泉郷・赤水の滝ライトアップ

期 間：令和3年11月6日（土）～14日（日）ライトアップ実施

会 場：静岡市梅ヶ島温泉郷 赤水の滝

内 容 紅葉が最も美しいこの時期に9日間にわたり赤水の滝をライトアップし、“オクシズ”をPRした。

キ 産業フェアしずおか2021 出展

期 間：令和3年11月27日（土）～28日（日）

会 場：ツインメッセ静岡

内 容：観光インフォメーションにて、来場者に対し市内観光地の紹介及び、静岡市観光カレンダーを販売した。あわせて観光に対するアンケートを実施し、691件の回答があった。また、姉妹・友好都市コーナーでは佐久市、上越市が物産を販売した。

来場者数は、前年度の2倍以上であった。

来場者数 30,600名（27日（土）13,700名、28日（日）16,900名）

ク 音声ガイドシステムを利用した非接触型観光

内 容：既存のスマートフォンを利用した音声ガイドシステムによる東海道宿場巡り（蒲原宿から藤枝宿）に加え、令和3年度は域内周遊促進のため、島田宿4か所の音声ガイドを追加制作した。

ケ 東京駅での情報発信事業

実施日：令和4年3月24日（木）

会 場：東京駅八重洲口イベントスペース

内 容：JR東京駅内で静岡市の魅力を発信するイベント内観光ブースにて、静岡市の観光パンフレットを配布し静岡市の観光地のPRを行った。当ブースには、233名の来訪があった。

③ 旅行商品企画販売事業

ア 「臨濟寺特別拝観と修行体験」事業

期 間：令和3年5月14日（金）～17日（月）

会 場：臨濟寺（静岡市葵区大岩町7-1）

内 容：令和3年4月6日（火）から「臨濟寺特別拝観と修行体験」の参加者を募集した。

入門儀式の再現の見学や、座禅体験など、各日2回（昼夜）計8回の修行体験を行った。

実施日	昼の部	夜の部
5月14日(金)	23名	20名
5月15日(土)	23名	22名
5月16日(日)	22名	20名
5月17日(月)	20名	21名

(昼の部 88名 夜の部 83名 参加者合計数 171名)

### (3) 観光客等受入事業

#### 【目的】

観光案内所を運営し、来訪者への情報提供の充実を図る。当市における新型コロナウイルス感染拡大に伴う観光施設等の営業状況や内容変更などを常に情報収集し、来訪者に正確な情報を提供する。静岡市指定管理事業においては、来館者に対し情報発信を行う観光案内所機能を果たすとともに、感染予防対策を万全にしたうえで独自の事業を展開し入館者増を目指す。

#### 【年度 KPI】

- ・案内所利用者数 50,000人
- ・末廣来館者数 18,000人

#### 【当期間の活動及び成果】

実績は下記のとおり

#### ① 観光案内所運営事業

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令のため、令和3年8月20日(金)から9月30日(木)まで臨時休館とした。

ア 静岡駅総合観光案内所(静岡駅北口)	29,161人
イ 静岡市静岡駅観光案内所(静岡駅南口)	5,203人
ウ 静岡市清水駅前観光案内所	6,652人
案内所合計	41,016人
エ 静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」	86,914人

#### ② 船宿「末廣」運営事業

来館者に対し、清水港及びその周辺地域の歴史に関する資料展示や観光と物産の情報を提供した。毎年恒例の「鯉・端午の節句飾り展」や日本茶インストラクターを講師に「新茶の入れ方教室」のイベントを実施した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令のため、令和3年8月20日(金)から9月30日(木)まで臨時休館とした。

入館者数 4,330人

#### ③ 観光ボランティア活動支援事業

支援事業選定委員会による審査の結果、観光ボランティアガイド団体に対し、助成金の交付を決定した。

ア 清水区観光ボランティアガイドの会(助成金 100,000円)

#### ④ 大型客船寄港時受入事業

清水港日の出埠頭岸壁にて乗船客に対し観光案内を行った。今年度は国内船「にっぽん丸」のみ対応となった。

入港日：令和3年4月5日(月)、28日(水)、8月5日(木)、18日(水)、12月28日(木)

⑤ 観光セミナー等開催事業

事業者または市民が静岡市にある魅力を再発見・活用できるようきっかけをつくることを目的に、観光セミナー「駿河の幕末維新 渋沢栄一と徳川慶喜」を開催した。セミナーは、後日、当財団 WEB サイト上で動画配信を行った。

開催日 令和3年12月9日(木) 14時～16時

会場 浮月楼 月光の間

テーマ及び講師 第一部「駿河の幕末維新 渋沢栄一×徳川慶喜」

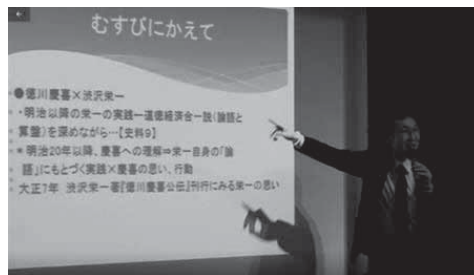
講師 渋沢史料館 副館長 桑原功一氏

第二部「しずおかゆかりの地を紹介 渋沢栄一×徳川慶喜×しずおか」

講師 静岡県立大学 国際関係学部 講師 宮崎晋生氏

参加人数 40人

動画配信 令和4年1月14日(金)～2月28日(月)(視聴回数155回)



⑥ 「しずおか茶巡りデスク」受託運営事業

お茶ツーリズム体験希望者と受け入れ可能な茶農家を繋ぐ窓口機能を持った「しずおか茶巡りデスク」の運營業務を受託し、相談・受入調整をワンストップで行うとともに、お茶に関する体験希望者及び来訪者数を増やすため、国内外へ広く情報発信を行った。

No	体験内容	受入先	体験日	国籍	人
1	試飲、茶畑見学	マルイチ水野製茶	令和3年4月4日(金)	日本	4
2	試飲、茶畑見学、お茶スイーツ、工場見学	マルイチ水野製茶	令和3年4月4日(金)	日本	4
3	試飲、茶畑見学、茶摘み	未定	令和3年4月10日(土)	日本	(2)
4	試飲、茶畑見学	黄金みどり茶園	令和3年5月22日(土)	日本	(4)
5	試飲、茶畑見学、お茶スイーツ、工場見学	静岡市タクシー協議会	令和3年6月15日(火)	日本	4
6	日本茶のネット販売情報	黄金みどり茶園	令和3年6月21日(月)	日本	(1)
7	試飲、茶畑見学、工場見学	山水園	令和3年7月8日(木)	日本	1
8	試飲	—	令和3年8月27日(金)	日本	(2)
9	試飲、工場見学	—	令和3年8月29日(日)	日本	(2)
10	試飲、工場見学	マルイチ水野製茶	令和3年11月1日(火)	日本	(9)
11	試飲、工場見学	—	令和3年11月4日(金)	日本	(42)
12	試飲、茶畑見学、工場見学	マルイチ水野製茶	令和4年1月11日(火) ～12日(水)	日本	1
13	試飲、お茶スイーツ、茶畑見学、茶摘み、工場見学、その他	—	令和4年2月	日本	(2)

14	試飲、その他	①むらかみ園 森農園	令和4年3月15日(火)	日本	1
15	試飲、茶畑見学、ライブ配信	グリーンエイト カフェ	令和4年3月16日(水)	日本	3
16	試飲、茶畑見学、工場見学、その他	お茶の森	令和4年3月26日(土)	フランス	4
17	試飲、茶畑見学、茶摘み	黄金みどり茶園	令和4年4月5日(火)	日本	(1)
18	試飲、茶畑見学、工場見学	お茶の森	令和4年4月10日(日)	日本	5
19	試飲、茶畑見学、農泊体験、その他	ぬくもり園ゆるり	令和4年4月20日(水) ～22日(金)	日本	1
20	試飲、茶畑見学、茶摘み、工場見学	—	令和4年4月22日(金) 4月27日(日) 4月28日(月) 5月9日(月) 5月10日(火)	日本	(17)
21	試飲、茶畑見学、工場見学	—	令和4年5月9日(月) ～22日(日)	日本	(20)
22	試飲、茶畑見学、工場見学、その他	豊好園	未定	日本	(1)
	22件				28

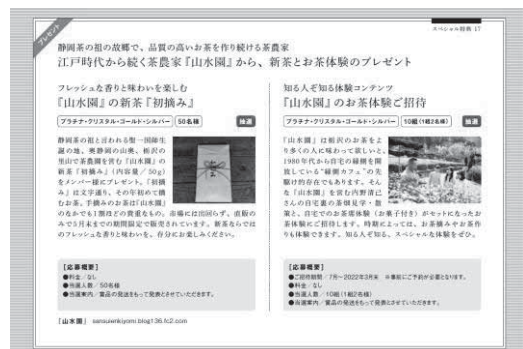
※新型コロナウイルス感染症拡大により、県外からの受入は停止。

( )は受入予定人数、日本茶のネット販売情報に関する問い合わせのため受入合計人数には含まれていない。

## ア 東急 ROYAL CLUB 会員誌を使用した情報発信

兼ねてよりネットワークのあった東急より、上級会員 (ROYAL CLUB) 向け会員誌 FINO のへの情報掲載及び読者プレゼント商品提供の依頼があった。通常よりも生活水準が高い東急沿線の約 20,000 人へ、ダイレクトに情報を提供できる会員誌において、「茶巡りデスク」を經由してのお茶農家訪問体験 (3,000 円/1 名あたり) の商品を、10 組 20 名の読者プレゼントをすることとした。これとともに、東急の買い取りで山水園の新茶 50 個をプレゼントした。

当選者は確定したが、コロナウイルス拡大による緊急事態宣言等の発令により、これまで当選者の受け入れはしていない。



イ 新茶時期の写真素材撮影及び茶関連取材

期 間：令和3年4月29日（木）～5月2日（日）

内 容：写真素材撮影と茶農家や茶商などの茶関連事業者へ取材した。  
新茶時期にしか無い写真素材や、茶産業の仕事内容などを取材し、コロナ収束時のタイミングでは、色々な媒体への掲載がスムーズかつ的確なタイミングでプロモーションする必要があるため、それらの準備として実施した。



⑦ しずチカ空間活用の社会実験に係る運營業務 受託

**JR** 静岡駅北口地下にある『しずチカ情報ポケット』の活用について、観光案内機能の実証実験事業を静岡市（市長公室広報課）から受託し運営した。

ア しずチカ空間活用の社会実験に係る全体運營業務（その2）受託

当初計画では、令和3年7月30日（金）から8月31日（火）の期間で実証事業を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により静岡県に緊急事態宣言が発令されたため、8月20日（金）から閉鎖となり、実証事業も中止となった。

令和3年7月30日から8月19日までの来所者数：1,784人

イ しずチカ空間活用社会実験（その3）に係る観光案内業務

令和3年12月2日（木）から令和4年2月1日（火）まで観光案内等の業務にあたった。  
期間中の来所者数：5,269人

（4）イベント等支援事業

支援事業選定委員会を開催。地域振興への貢献と情報発信及び相当程度の集客力が見込まれる下記のイベントに対し、助成金を交付した。

① 今川義元公杯第19回清水カップ全国グラウンドゴルフ大会（助成額 285,625円）

開催予定日：令和4年2月16日（水）～17日（木）

会 場：三保真崎グラウンドゴルフ場・日本平ホテル芝生庭園

内 容：上記日程で大会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大が終息しないため令和4年1月19日に中止をした。ただし、すでに参加者が決定し、それまでに経費が発生しているため、イベントの継続を支援するため必要経費分の助成金を交付した。

② 日本平ウォーク・フォトコンテスト助成金（助成額 300,000円）

開催期間：令和4年2月21日（月）～28日（月）

場 所：日本平周辺

出品点数：50点

内 容：令和4年2月に開催予定だった「日本平ウォーク」は感染拡大を回避するため中止したが、次大会への継続と日本平周辺に散在する名所・旧跡・観光施設の魅力を発信するためにフォトコンテストを開催した。

**収益事業**

経営計画に基づく KPI		
	令和3年度（目標値）	令和3年度（実績）
登呂駐車場収益	9,060,000 円	10,482,100 円
駿府城跡観光バス駐車場実績	2,700 台	1,899 台
ショーケース収益	7,000,000 円	7,649,708 円
土産品等販売収益	920,000 円	536,795 円

**【目的・概要】**

役割規模、成長に応じた収益を担保し、財政的継続性を高める。

**【当期間の活動及び成果】**

財団運営における自主財源確保のため、年間を通し下記の事業を行った。

## 1 駐車場管理運営事業

(1) 登呂遺跡駐車場運営事業（年間収入予算額 9,060,000 円）

年間利用台数 大型車 501 台 夜間大型車 64 台  
普通車 23,828 台 夜間普通車 119 台  
年間利用料収入 10,482,100 円

(2) 駿府城跡観光バス駐車場受託事業

年間利用台数 1,899 台（昼間 1,764 台、夜間 135 台）

## 2 静岡駅前地下道ショーケース貸付事業（年間収入予算額：7,000,000 円）

長期貸出ケース数 14 件 4,602,180 円  
短期貸出ケース数 16 件 3,047,528 円  
年間合計額 7,649,708 円

## 3 観光施設等での土産品等販売事業（年間収入予算額：920,000 円）

年間実績 536,795 円

### 3 法人運営

#### (1) 財政的継続性 —収益体質の強化—

財団職員の経験を活かした企画提案による事業受託等、収益の獲得に努めた。

また、管理運営経費については、ノー残業デーの徹底、印刷物のWEB化など経費削減に努めた。

#### (2) 人材育成

組織の継続的な成長を担う人材の育成につながる新たな人事評価制度を構築した。財団理念の浸透と明確な目標に向けた職員の意識向上を図り、透明性の高い評価による個のモチベーションアップとチーム力の強化を目指し、令和4年度から運用する。

また、全国公益法人協会、静岡商工会議所、静岡県及び静岡市並びに民間団体等が実施する研修会に参加し、職員のスキルアップを図った。コロナ禍であり、特にWEB研修は積極的に活用した。

経営計画に基づく KPI		
	令和3年度（目標値）	令和3年度（実績）
当期一般正味財産増減額	400 千円	21,698 千円
プロパー人材採用数	0 人	0 人

#### 【資金調達の状況】

##### 1 資金調達

なし

##### 2 設備投資

(1) 重要な固定資産の取得

(2) 重要な設備の新設、増設

(3) 重要な固定資産の売却、除却、滅失等

なし

#### 【基本財産運用状況】

該当なし

#### 【重要な契約の締結】

##### 1 業務名称：「観光案内所運営業務」

業務内容：JR 静岡駅及び清水駅前にて観光案内所を運営し、観光客に静岡市の多彩な魅力を発信して、街の回遊性を高める観光情報発信拠点としての役割を担う。

契約期間：令和3年4月1日から令和4年3月31日

契約先：株式会社東海道シグマ

契約金額：1時間あたり契約単価

① 静岡駅北口@1,980円 ② 静岡駅南口・清水駅前@1,650円

年間総額：20,174,449円

2 業務名称：「2021 静岡県中部地区 DMO 事業「MANAVIVA!」実施業務」

業務内容：静岡県中部地区 DMO 事業である Learn 戦略のコンテンツ「MANAVIVA!」に関して、認知、興味、関心を高め、静岡県中部地区全体の観光目的地としてのブランド価値を高めることを目的として、事業者と連携した商品造成及び県内外へのプロモーションを実施する。

契約期間：令和3年4月1日から令和4年3月31日

契約先：株式会社 AOBEBAT

契約金額：27,698,000 円

変更金額：22,614,570 円

※変更の理由：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により、当初予定していた SNS 広告業務などが執行できなかったため所要経費を減額した。

3 業務名称：「するがレポート」作成支援業務

業務内容：静岡県中部・志太榛原地域（静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）の観光産業の実態をまとめた「するがレポート」を作成するにあたり、当地域への来訪者の特性及び地域内の観光事業者の経営環境や景況感を明らかにするとともに、観光産業が当地域に与える経済効果を試算する。

契約期間：令和3年4月1日から令和4年3月31日

契約先：一般財団法人静岡経済研究所

契約金額：14,960,000 円

変更金額：13,840,000 円

※変更の理由：夏季の来訪者調査が新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発出により中止となったため、調査1期分の所要経費を減額した。

【直前3事業年度の財産及び損益の状況】

(円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (当該事業年度)
経常収益	376,090,189	373,472,787	389,200,050	343,069,810
評価損益等調整前 当期経常増減額	13,400,652	3,908,943	1,380,432	14,798,716
当期経常増減額	13,400,652	3,908,943	1,380,432	14,798,716
正味財産期末残高	620,846,944	624,947,579	631,113,232	652,811,636

【評議員会、理事会等に関する事項】

1 評議員会

- ・臨時評議員会（第1回）

決議日：令和3年4月15日（木）

議 題：評議員の選任の件

（成立）

理事の選任の件

（成立）

- ・臨時評議員会（第2回）
  - 決議日：令和3年4月30日（金）
  - 議 題：評議員の選任の件（成立）
  - 理事の選任の件（成立）
- ・臨時評議員会（第3回）
  - 決議日：令和3年6月10日（木）
  - 議 題：令和2年度事業報告の内容報告について
  - 令和2年度決算書の承認について（成立）
  - 評議員の任期満了に伴う選任について（成立）
  - 理事の任期満了に伴う選任について（成立）
  - 監事の退任に伴う選任について（成立）
- ・臨時評議員会（第4回）
  - 決議日：令和3年8月20日（金）
  - 議 題：評議員の選任の件（成立）
- ・臨時評議員会（第5回）
  - 決議日：令和3年11月19日（金）
  - 議 題：評議員の選任の件（成立）
- ・臨時評議員会（第6回）
  - 決議日：令和4年3月7日（月）
  - 議 題：理事の選任の件（成立）

## 2 理事会

- ・臨時理事会（第1回）
  - 決議日：令和3年4月8日（木）
  - 議 題：評議員に対しみなし決議を提案する件について（成立）
  - 副理事長の停止条件付き選定について（成立）
  - 令和3年度役員等賠償責任保険締結について（成立）
- ・臨時理事会（第2回）
  - 決議日：令和3年4月23日（金）
  - 議 題：評議員に対しみなし決議を提案する件について（成立）
  - 支援事業選定委員会委員の選任について（成立）
- ・定時理事会（第3回）
  - 決議日：令和3年5月20日（木）
  - 議 題：令和2年度事業報告及び附属明細書の承認について（成立）
  - 令和2年度決算書及び附属明細書の承認について（成立）
  - 運営組織及び事業活動の状況の概要等について（成立）
  - 定時評議員会の招集について（成立）
  - 職務執行状況の報告について

- ・臨時理事会（第4回）
  - 決議日：令和3年6月10日（木）
  - 議 題：代表理事（理事長）1名選定の件（成立）
  - 副理事長2名選定の件（成立）
  - 専務理事1名選定の件（成立）
  - 理事長の職務を代行する副理事長の順位の件（成立）
- ・臨時理事会（第5回）
  - 決議日：令和3年8月10日（火）
  - 議 題：令和3年度補正予算について（成立）
  - 評議員に対しみなし決議を提案する件について（成立）
- ・臨時理事会（第6回）
  - 決議日：令和3年11月19日（金）
  - 議 題：令和3年度補正予算について（成立）
  - 評議員に対しみなし決議を提案する件について（成立）
  - 職務執行状況の報告について
- ・臨時理事会（第7回）
  - 決議日：令和4年2月25日（金）
  - 議 題：評議員に対しみなし決議を提案する件について（成立）
- ・定時理事会（第8回）
  - 決議日：令和4年3月22日（火）
  - 議 題：令和4年度事業計画及び収支予算について（成立）
  - 重要な契約の締結について（成立）
  - 令和4年度役員等賠償責任保険契約の締結について（成立）
  - 観光地域づくり事業助成金規程の制定について（成立）
  - 支援事業選定委員会規程の一部改正について（成立）
  - 職員給与規程の一部改正について（成立）
  - 職務執行状況の報告について

【一般法人法第90条第4項第5号に規定する体制の整備の決定及び運用状況の概要】

○諸規程の改正状況

観光地域づくり事業助成金規程制定

支援事業選定委員会規程一部改正

職員給与規程一部改正

○危機管理及びリスク管理等に関する研修への参加状況

- ・開催日：令和3年5月27日（木）

内 容：暴力団等による不当な行為の防止等に関する法律に規定する講習

（職員1名参加）

- ・開催日：令和3年7月20日（火）

内 容：「テレワークの『情報セキュリティ』リスク対策」（オンライン形式）

（職員1名参加）

- ・開催日：令和3年8月26日（木）

内 容：「『多様な正社員』制度導入セミナー」（オンライン形式）（職員1名参加）

【監査等実施状況】

(1) 監事監査

監事による決算監査

令和3年5月12日（水）午後2時～午後3時30分

【公益財団法人変更登記に関する事項】

- (1) 令和3年 5月 評議員及び理事の変更登記
- (2) 令和3年 6月 評議員、理事、代表理事及び監事の変更登記
- (3) 令和3年 8月 評議員の変更登記
- (4) 令和3年 12月 評議員の変更登記

【行政庁への届出事項】

- (1) 令和3年 6月 事業報告等に係る届出
- (2) 令和3年 7月 評議員及び理事の変更届出
- (3) 令和3年 7月 評議員、理事、代表理事及び監事の変更届出
- (4) 令和3年 9月 評議員の変更届出
- (5) 令和3年 12月 評議員の変更届出
- (6) 令和4年 3月 事業計画等に係る届出

【役員に関する事項】

役員等の就退任の状況

区 分	年度当初	就 任	退 任	3月現在
評議員	16名	9名	9名	16名
理 事	19名	8名	7名	20名
監 事	3名	—	—	3名

※令和4年3月31日現在の評議員、理事、監事は名簿のとおり

## 公益財団法人するが企画観光局 評議員名簿

評議員 16 名

敬称略

役職名	氏 名	役 職
評 議 員	岩 崎 浩 季	しずおか焼津信用金庫理事お客様サポート部長
評 議 員	梅 島 毅	株式会社テレビ静岡事業局長
評 議 員	大 井 一 郎	株式会社ドリームプラザ代表取締役社長
評 議 員	川 井 敏 行	静岡鉄道株式会社代表取締役社長
評 議 員	川 本 晋 輔	静岡信用金庫常勤理事経営相談部長
評 議 員	久 保 田 倫 生	株式会社清水銀行支店営業部長
評 議 員	小 阪 秀 彦	株式会社静岡新聞社取締役営業担当地域ビジネス推進局長 兼業務部長
評 議 員	関 根 俊 介	株式会社静岡朝日テレビ総務局長
評 議 員	都 築 東 一 郎	株式会社 JTB 静岡支店長
評 議 員	都 築 直 哉	静岡県スポーツ・文化観光部観光交流局長
評 議 員	原 田 佳 典	島田掛川信用金庫理事地方創生室長
評 議 員	望 月 哲 也	静岡市観光交流文化局長
評 議 員	本 柳 純	株式会社近畿日本ツーリスト首都圏静岡支店長
評 議 員	桃 瀬 弘 明	スルガ銀行株式会社静岡兼東静岡支店長
評 議 員	吉 永 浩 己	株式会社静岡第一テレビ事業プロデュース局長
評 議 員	若 林 紀 伸	株式会社静岡銀行執行役員・地方創生部長

令和 4 年 3 月 31 日現在

## 公益財団法人するが企画観光局 理事・監事名簿

理事 20 名 監事 3 名

敬称略

役職名	氏 名	役 職
理 事 長	田 辺 信 宏	静岡市長
副 理 事 長	久 保 田 隆	静岡商工会議所観光・飲食部会長
副 理 事 長	大 須 賀 紳 晃	株式会社静岡新聞社代表取締役社長
専 務 理 事	池 田 文 信	公益財団法人するが企画観光局専務理事
理 事	浦 田 学	株式会社静岡銀行地方創生部地方創生グループ長
理 事	大 本 裕 一	焼津市経済部長
理 事	岡 村 涉	静岡市観光交流文化局次長
理 事	神 田 優 一	静岡県中部地区商工会連絡協議会会長
理 事	北 川 雅 之	島田商工会議所専務理事
理 事	杉 浦 衛	藤枝商工会議所専務理事
理 事	鈴 木 靖 和	藤枝市スポーツ文化観光部長
理 事	田 形 正 典	牧之原市産業経済部長
理 事	田 中 義 臣	島田市産業観光部長
理 事	中 野 裕 文	川根本町観光商工課長
理 事	中 山 孝 宏	吉田町産業課長
理 事	西 村 等	富士山静岡空港株式会社代表取締役社長
理 事	野 村 一 正	清水港客船誘致委員会委員
理 事	松 永 秀 昭	静岡商工会議所常務理事
理 事	村 松 悌 三 朗	焼津商工会議所専務理事
理 事	八 木 健 祥	静岡県公立大学法人静岡県立大学大学院 経営情報イノベーション研究科長兼ツーリズム研究センター長
監 事	佐 藤 正 欣	SRC・総合労務センター 副所長
監 事	西ヶ谷博行	あさひ税理士法人代表社員
監 事	吉 田 雄 一	吉田雄一会計事務所所長

令和 4 年 3 月 31 日現在

## 令和 3 年度 事業報告の附属明細書

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)

重要な事項については、令和 3 年度事業報告にすべて記載されているため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

公益財団法人するが企画観光局  
理事長 田 辺 信 宏

貸借対照表  
令和4年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	138,608,677	145,922,249	△ 7,313,572
未収金	12,428,691	21,312,721	△ 8,884,030
貯蔵品	1,288,682	1,364,013	△ 75,331
前払金	1,239,128	1,432,418	△ 193,290
仮払金	10,930	0	10,930
流動資産合計	153,576,108	170,031,401	△ 16,455,293
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	692,933	692,933	0
投資有価証券	522,029,545	522,008,273	21,272
基本財産合計	522,722,478	522,701,206	21,272
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	58,396,213	55,089,780	3,306,433
国際会議誘致助成金積立資産	5,000,000	5,000,000	0
コンベンション開催準備資金貸付金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	73,396,213	70,089,780	3,306,433
(3) その他固定資産			
建物	6,202,005	7,024,567	△ 822,562
什器備品	277,289	405,975	△ 128,686
電話加入権	448,256	448,256	0
敷金	6,471,840	6,471,840	0
保証金	600,000	600,000	0
ソフトウェア	41,400	63,000	△ 21,600
その他固定資産合計	14,040,790	15,013,638	△ 972,848
固定資産合計	610,159,481	607,804,624	2,354,857
資産合計	763,735,589	777,836,025	△ 14,100,436
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	42,918,100	80,180,305	△ 37,262,205
前受金	83,000	69,900	13,100
預り金	22,440	57,220	△ 34,780
仮受金	197,510	188,100	9,410
未払消費税等	1,634,200	1,710,800	△ 76,600
未払法人税等	1,497,900	1,029,100	468,800
賞与引当金	6,100,972	6,596,996	△ 496,024
ポイント引当金	73,618	1,800,592	△ 1,726,974
流動負債合計	52,527,740	91,633,013	△ 39,105,273
2. 固定負債			
退職給付引当金	58,396,213	55,089,780	3,306,433
固定負債合計	58,396,213	55,089,780	3,306,433
負債合計	110,923,953	146,722,793	△ 35,798,840
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	652,811,636	631,113,232	21,698,404
(うち特定資産への充当額)	(522,722,478)	(522,701,206)	(21,272)
(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)
正味財産合計	652,811,636	631,113,232	21,698,404
負債及び正味財産合計	763,735,589	777,836,025	△ 14,100,436

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,525,320	5,525,320	0
基本財産運用益計	5,525,320	5,525,320	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	6,194	16,669	△ 10,475
特定資産運用益計	6,194	16,669	△ 10,475
受取会費			
賛助会員受取会費	8,128,000	8,783,000	△ 655,000
受取会費計	8,128,000	8,783,000	△ 655,000
事業収益			
指定管理受託金	8,014,000	7,671,400	342,600
受取地方公共団体受託金	24,511,626	21,089,794	3,421,832
広告収益	273,900	1,100	272,800
観光宣伝品売上収益	487,270	419,000	68,270
コンベンション支援品売上収益	45,000	53,000	△ 8,000
登呂遺跡駐車場収益	10,482,100	7,518,700	2,963,400
ショーケース利用料収益	7,649,708	6,409,920	1,239,788
船宿「末廣」土産等売上収益	166,012	205,628	△ 39,616
旅行商品売上収益	1,496,687	1,320,525	176,162
その他事業収益	509,825	6,745,963	△ 6,236,138
事業収益計	53,636,128	51,435,030	2,201,098
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	143,654,000	145,874,000	△ 2,220,000
受取国庫補助金	15,077,100	42,191,935	△ 27,114,835
受取その他補助金	0	250,000	△ 250,000
受取補助金計	158,731,100	188,315,935	△ 29,584,835
受取負担金			
受取負担金	116,016,000	134,816,000	△ 18,800,000
受取負担金計	116,016,000	134,816,000	△ 18,800,000
雑収益			
雑収益	1,027,068	308,096	718,972
雑収益計	1,027,068	308,096	718,972
経常収益計	343,069,810	389,200,050	△ 46,130,240
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	599,837	77,406	522,431
役員報酬	2,389,244	2,158,181	231,063
給料手当	50,622,717	59,266,739	△ 8,644,022
臨時雇賃金	8,862,794	8,584,393	278,401
法定福利費	10,558,780	10,045,880	512,900
福利厚生費	1,605,041	1,499,322	105,719
退職給付費用	2,551,508	1,106,057	1,445,451
賞与引当金繰入額	4,463,776	4,752,533	△ 288,757
会議費	496,180	89,400	406,780
旅費交通費	896,878	514,467	382,411
通信運搬費	1,909,369	2,559,840	△ 650,471
建物減価償却費	675,906	675,906	0
什器備品減価償却費	90,080	111,284	△ 21,204
ソフトウェア減価償却費	21,600	21,600	0
消耗什器備品費	90,200	172,328	△ 82,128
消耗品費	4,369,354	3,802,126	567,228
修繕費	207,669	263,500	△ 55,831
印刷製本費	3,375,936	1,747,867	1,628,069
燃料費	248,472	244,392	4,080
光熱水料費	1,831,225	1,857,659	△ 26,434
賃借料	15,439,156	15,758,739	△ 319,583
保険料	592,682	577,130	15,552
諸謝金	626,173	3,850,030	△ 3,223,857
租税公課	2,922,970	2,557,710	365,260
支払負担金	9,937,042	13,310,690	△ 3,373,648
助成金	3,479,532	1,484,646	1,994,886
委託費	125,975,121	156,441,612	△ 30,466,491
人材派遣費	31,691,438	30,825,040	866,398
手数料	2,947,408	922,802	2,024,606
広告費	406,130	22,213,348	△ 21,807,218
雑費	200,000	504,160	△ 304,160
ポイント引当繰入額	73,618	1,800,592	△ 1,726,974
事業費計	290,157,836	349,797,379	△ 59,639,543

管理費			
役員報酬	2,389,245	2,158,181	231,064
給料手当	19,062,366	20,529,306	△ 1,466,940
退職給付費用	853,558	438,451	415,107
法定福利費	3,608,234	3,583,376	24,858
福利厚生費	515,185	509,180	6,005
賞与引当金繰入額	1,637,196	1,844,463	△ 207,267
会議費	329,878	216,121	113,757
旅費交通費	13,030	102,190	△ 89,160
通信運搬費	280,611	348,867	△ 68,256
建物減価償却費	146,656	146,656	0
什器備品減価償却費	38,606	38,606	0
消耗什器備品費	279,950	68,200	211,750
消耗品費	133,309	348,888	△ 215,579
修繕費	132,979	0	132,979
印刷製本費	90,420	305,954	△ 215,534
燃料費	20,017	19,216	801
光熱水料費	74,417	81,921	△ 7,504
賃借料	3,015,272	3,040,909	△ 25,637
保険料	455,773	359,260	96,513
諸謝金	2,121,536	2,506,316	△ 384,780
租税公課	50,230	106,190	△ 55,960
負担金	672,162	764,040	△ 91,878
手数料	616,888	325,008	291,880
委託費	1,570,740	175,940	1,394,800
雑費	5,000	5,000	0
管理費計	38,113,258	38,022,239	91,019
経常費用計	328,271,094	387,819,618	△ 59,548,524
評価損益等調整前当期経常増減額	14,798,716	1,380,432	13,418,284
当期経常増減額	14,798,716	1,380,432	13,418,284
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
賞与引当金戻入額	6,596,996	4,861,414	1,735,582
ポイント引当金戻入額	1,800,592	0	1,800,592
前期損益修正益	0	970,350	△ 970,350
その他の経常外収益計	8,397,588	5,831,764	2,565,824
経常外収益計	8,397,588	5,831,764	2,565,824
(2) 経常外費用			
その他の経常外費用			
前期損益修正損	0	17,443	△ 17,443
その他の経常外費用計	0	17,443	△ 17,443
経常外費用計	0	17,443	△ 17,443
当期経常外増減額	8,397,588	5,814,321	2,583,267
税引前当期一般正味財産増減額	23,196,304	7,194,753	16,001,551
法人税、住民税及び事業税	1,497,900	1,029,100	468,800
当期一般正味財産増減額	21,698,404	6,165,653	15,532,751
一般正味財産期首残高	631,113,232	624,947,579	6,165,653
一般正味財産期末残高	652,811,636	631,113,232	21,698,404
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	652,811,636	631,113,232	21,698,404

正味財産増減計算書内訳表  
令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,762,660	0	2,762,660	0	5,525,320
基本財産運用益計	2,762,660	0	2,762,660	0	5,525,320
特定資産運用益					
特定資産受取利息	294	0	5,900	0	6,194
特定資産運用益計	294	0	5,900	0	6,194
受取会費					
賛助会員受取会費	4,064,000	0	4,064,000	0	8,128,000
受取会費計	4,064,000	0	4,064,000	0	8,128,000
事業収益					
指定管理受託金	8,014,000	0	0	0	8,014,000
受取地方公共団体受託金	18,516,626	5,995,000	0	0	24,511,626
広告収益	273,900	0	0	0	273,900
観光宣伝品売上収益	487,270	0	0	0	487,270
コンベンション支援品売上収益	45,000	0	0	0	45,000
登呂遺跡駐車場収益	0	10,482,100	0	0	10,482,100
ショーケース利用料収益	0	7,649,708	0	0	7,649,708
船宿「末廣」土産等売上収益	0	166,012	0	0	166,012
旅行商品売上収益	1,496,687	0	0	0	1,496,687
その他事業収益	509,825	0	0	0	509,825
事業収益計	29,343,308	24,292,820	0	0	53,636,128
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	108,410,000	0	35,244,000	0	143,654,000
受取国庫補助金	15,077,100	0	0	0	15,077,100
受取その他補助金	0	0	0	0	0
受取補助金計	123,487,100	0	35,244,000	0	158,731,100
受取負担金					
受取負担金	116,016,000	0	0	0	116,016,000
受取負担金計	116,016,000	0	0	0	116,016,000
雑収益					
雑収益	604,031	370,787	52,250	0	1,027,068
雑収益計	604,031	370,787	52,250	0	1,027,068
経常収益計	276,277,393	24,663,607	42,128,810	0	343,069,810
(2) 経常費用					
事業費					
仕入高	538,645	61,192	0	0	599,837
役員報酬	2,389,244	0	0	0	2,389,244
給料手当	50,622,717	0	0	0	50,622,717
臨時雇賃金	4,569,266	4,293,528	0	0	8,862,794
法定福利費	10,513,728	45,052	0	0	10,558,780
福利厚生費	1,550,501	54,540	0	0	1,605,041
退職給付費用	2,551,508	0	0	0	2,551,508
賞与引当金繰入額	4,463,776	0	0	0	4,463,776
会議費	496,180	0	0	0	496,180
旅費交通費	896,878	0	0	0	896,878
通信運搬費	1,859,154	50,215	0	0	1,909,369
建物減価償却費	675,906	0	0	0	675,906
什器備品減価償却費	90,080	0	0	0	90,080
ソフトウェア減価償却費	21,600	0	0	0	21,600
消耗什器備品費	0	90,200	0	0	90,200
消耗品費	4,242,974	126,380	0	0	4,369,354
修繕費	120,769	86,900	0	0	207,669
印刷製本費	3,309,276	66,660	0	0	3,375,936
燃料費	248,472	0	0	0	248,472
光熱水料費	1,480,871	350,354	0	0	1,831,225
賃借料	12,123,739	3,315,417	0	0	15,439,156
保険料	552,322	40,360	0	0	592,682
諸謝金	626,173	0	0	0	626,173
租税公課	1,857,361	1,065,609	0	0	2,922,970
支払負担金	9,936,242	800	0	0	9,937,042
助成金	3,479,532	0	0	0	3,479,532
委託費	121,728,351	4,246,770	0	0	125,975,121
人材派遣費	31,691,438	0	0	0	31,691,438
手数料	2,920,848	26,560	0	0	2,947,408
広告費	367,630	38,500	0	0	406,130
雑費	200,000	0	0	0	200,000
ポイント引当金繰入金額	73,618	0	0	0	73,618
事業費計	276,198,799	13,959,037	0	0	290,157,836

管理費					
役員報酬	0	0	2,389,245	0	2,389,245
給料手当	0	0	19,062,366	0	19,062,366
退職給付費用	0	0	853,558	0	853,558
法定福利費	0	0	3,608,234	0	3,608,234
福利厚生費	0	0	515,185	0	515,185
賞与引当金繰入額	0	0	1,637,196	0	1,637,196
会議費	0	0	329,878	0	329,878
旅費交通費	0	0	13,030	0	13,030
通信運搬費	0	0	280,611	0	280,611
建物減価償却費	0	0	146,656	0	146,656
什器備品減価償却費	0	0	38,606	0	38,606
消耗什器備品費	0	0	279,950	0	279,950
消耗品費	0	0	133,309	0	133,309
修繕費	0	0	132,979	0	132,979
印刷製本費	0	0	90,420	0	90,420
燃料費	0	0	20,017	0	20,017
光熱水料費	0	0	74,417	0	74,417
賃借料	0	0	3,015,272	0	3,015,272
保険料	0	0	455,773	0	455,773
諸謝金	0	0	2,121,536	0	2,121,536
租税公課	0	0	50,230	0	50,230
負担金	0	0	672,162	0	672,162
手数料	0	0	616,888	0	616,888
委託費	0	0	1,570,740	0	1,570,740
雑費	0	0	5,000	0	5,000
管理費計	0	0	38,113,258	0	38,113,258
経常費用計	276,198,799	13,959,037	38,113,258	0	328,271,094
評価損益等調整前当期経常増減額	78,594	10,704,570	4,015,552	0	14,798,716
当期経常増減額	78,594	10,704,570	4,015,552	0	14,798,716
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
その他の経常外収益					
賞与引当金戻入額	4,752,533	0	1,844,463	0	6,596,996
ポイント引当金戻入額	1,800,592	0	0	0	1,800,592
前期損益修正益	0	0	0	0	0
その他の経常外収益計	6,553,125	0	1,844,463	0	8,397,588
経常外収益計	6,553,125	0	1,844,463	0	8,397,588
(2) 経常外費用					
その他の経常外費用					
前期損益修正損	0	0	0	0	0
その他の経常外費用計	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	6,553,125	0	1,844,463	0	8,397,588
他会計振替額	4,435,501	△ 4,435,501	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,067,220	6,269,069	5,860,015	0	23,196,304
法人税、住民税及び事業税	0	1,497,900	0	0	1,497,900
当期一般正味財産増減額	11,067,220	4,771,169	5,860,015	0	21,698,404
一般正味財産期首残高					631,113,232
一般正味財産期末残高					652,811,636
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
III 正味財産期末残高					652,811,636

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

当財団では、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会により公表された会計基準）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法  
満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
個別法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
  - ①建物及び建物付属設備  
定額法によっている。
  - ②上記以外の資産  
平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては、定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
 

賞与引当金  
役員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上している。

退職給付引当金  
退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

ポイント引当金  
MANAVIVA!会員の将来のポイント使用による費用負担に備えるため、当期末における未使用残高を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

### 2. 会計方針の変更

なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	692,933	0	0	692,933
投資有価証券	522,008,273	81,072	59,800	522,029,545
小 計	522,701,206	81,072	59,800	522,722,478
特定資産				
退職給付引当資産	55,089,780	3,405,066	98,633	58,396,213
誘致助成金積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
開催準備資金貸付資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	70,089,780	3,405,066	98,633	73,396,213
合 計	592,790,986	3,486,138	158,433	596,118,691

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	692,933	(0)	(692,933)	—
投資有価証券	522,029,545	(0)	(522,029,545)	—
小 計	522,722,478	(0)	(522,722,478)	—
特定資産				
退職給付引当資産	58,396,213	(0)	(0)	(58,396,213)
誘致助成金積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
開催準備資金貸付資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	73,396,213	(0)	(15,000,000)	(58,396,213)
合 計	596,118,691	(0)	(537,722,478)	(58,396,213)

### 5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,986,323	5,784,318	6,202,005
什器備品	2,536,455	2,259,166	277,289
ソフトウェア	108,000	66,600	41,400
合 計	14,630,778	8,110,084	6,520,694

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
337回 利付国庫債券(10年)	59,956,495	60,546,000	589,505
154回 利付国庫債券(20年)	180,807,290	199,170,000	18,362,710
11回 利付国庫債券(30年)	181,265,760	210,683,200	29,417,440
1-1 静岡市公債	100,000,000	98,820,000	-1,180,000
合 計	522,029,545	569,219,200	47,189,655

8. 金融商品に対する取り組み方針

公益目的事業の財源の一定部分を運用益によって賄うため、債券により資金運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(1) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(2) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資金運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行う。

②リスクの管理

債券については、発行体の状況及び時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
<b>補助金</b>						
運営費補助金	静岡市	0	108,778,000	108,778,000	0	一般正味財産
観光案内所運営事業費補助金	静岡市	0	24,082,000	24,082,000	0	一般正味財産
観光宣伝事業補助金	静岡市	0	10,794,000	10,794,000	0	一般正味財産
令和3年度訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金	観光庁	0	4,529,000	4,529,000	0	一般正味財産
令和3年度観光振興事業補助金(DMO体制整備事業)	観光庁	0	48,000	48,000	0	一般正味財産
<b>助成金</b>						
地域の観光の磨き上げを通じた域内連携推進に向けた実証事業	観光庁	0	10,500,000	10,500,000	0	一般正味財産
<b>負担金</b>						
コンベンション・シティ推進事業負担金	静岡市	0	8,316,000	8,316,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	焼津市	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	藤枝市	0	450,000	450,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	島田市	0	250,000	250,000	0	一般正味財産
コンベンション・シティ推進事業負担金	静岡商工会議所	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
DMO推進事業負担金	静岡市他4市2町	0	106,000,000	94,217,269	11,782,731	一般正味財産
合 計		0	274,747,000	262,964,269	11,782,731	

10. 関係当事者との取引の内容

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,596,996	6,100,972	6,596,996	—	6,100,972
退職給付引当金	55,089,780	3,405,066	98,633	—	58,396,213
ポイント引当金	1,800,592	73,618	1,800,592	—	73,618

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
	小口現金	手元保管	つり銭として	45,000	
	普通預金	静岡銀行呉服町支店	運転資金として	137,182,227	
		静岡信用金庫本店営業部	運転資金として	31,240	
		しずおか焼津信用金庫追手町支店	運転資金として	197,510	
		しずおか焼津信用金庫高松支店	運転資金として	1,152,700	
		静岡市等	施設管理に対する受託金、事業運営受託金等	12,428,691	
	未収金	観光宣伝用販売名刺台紙等	公益目的事業の用に供している。	1,288,682	
貯蔵品	㈱第一不動産他	事務所賃借料、保険料等	1,239,128		
前払金	(公財)静岡市勤労者福祉サービスセンター他	退職者分会費等	10,930		
仮払金					
流動資産合計				153,576,108	
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	定期預金	静岡銀行呉服町支店	静岡市等からの出捐金 運用益は50%を公益目的事業の財源に、50%を法人運営の財源として使用している。	692,933	
	投資有価証券	みずほ証券㈱他	静岡市等からの出捐金 運用益は50%を公益目的事業の財源に、50%を法人運営の財源として使用している。	522,029,545	
基本財産合計				522,722,478	
<b>特定資産</b>					
	退職給付引当資産	静岡銀行呉服町支店	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	58,396,213	
		清水銀行静岡支店	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	8,396,213	
		スルガ銀行静岡支店	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000	
		しずおか焼津信用金庫追手町支店	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000	
		静岡信用金庫本店営業部	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000	
		しずおか焼津信用金庫本店営業部	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,000,000	
	国際会議誘致助成金積立資産	静岡銀行呉服町支店	コンベンション誘致事業の積立資産であり、国際会議誘致助成金支出に備えたもの	5,000,000	
コンベンション開催準備資金貸付金積立資産	静岡銀行呉服町支店	コンベンション誘致事業の資産であり、コンベンション開催準備資金貸付に備えたもの	10,000,000		
特定資産合計				73,396,213	
<b>その他固定資産</b>					
	建物	静岡事務所内装、清水事務所内装他 静岡市葵区日出町1-2、清水区辻1丁目1-3-103	事業及び管理業務の用に供している。	6,202,005	
		静岡市葵区日出町1番地の2	事業及び管理業務の用に供している。	277,289	
		静岡市葵区日出町1番地の2	事業及び管理業務の用に供している。	448,256	
		静岡市葵区日出町1番地の2	静岡事務所として、事業及び管理業務の用に使用している。	6,471,840	
		東京都港区虎ノ門4-1-20 (一社)全国旅行業協会	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。(弁済業務保証金分担金)	600,000	
		静岡市葵区日出町1番地の2	公益目的事業の誘致用資料として活用している。	41,400	
その他固定資産合計				14,040,790	
固定資産合計				610,159,481	
資産合計				763,735,589	
<b>(流動負債)</b>					
	未払金	㈱東海道シグマ他	3月分人材派遣費他	42,918,100	
	前受金	日本交通㈱他	4月分駐車場利用料金等	83,000	
	預り金	日本年金機構	退職者社会保険料	22,440	
	仮受金	しずてつジャストライン㈱	管理施設での売上金	197,510	
	未払消費税等	静岡税務署等	期末納付消費税未払い分	1,634,200	
	未払法人税等	静岡税務署等	期末納付法人税未払い分	1,497,900	
	賞与引当金	役員に対するもの	役員に対する夏季賞与の支払いに備えたもの	6,100,972	
	ポイント引当金	MANAVIVA!会員に対するもの	会員のポイント使用による費用負担に備えたもの	73,618	
	流動負債合計				52,527,740
	<b>(固定負債)</b>				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	58,396,213	
固定負債合計				58,396,213	
負債合計				110,923,953	
正味財産				652,811,636	

事業	自	令和3年4月1日	法人コード	A007688
年度	至	令和4年3月31日	法人名	公益財団法人するが企画観光局

### 資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

#### 1 資金調達の実績について

借入れの実績			<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入先	金額		
		円		

#### 2 設備投資の実績について


設備投資の実績			<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の実績額	資金調達方法又は取得資金の用途	
		円		


令和4年5月12日

公益財団法人するが企画観光局  
理事長 田辺信宏 殿

公益財団法人するが企画観光局

監事 (署名) 佐藤 正欣 

監事 (署名) 西ヶ谷 博行 

監事 (署名) 吉田 雄一 

## 監査報告書

私たち監事は、当法人の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事はそれぞれ、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法とあわせて、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告及びその附属明細書について

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。
- ③ 内部統制体制の整備についての決定又は決議の内容について相当でない事項は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

- ① 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- ② 追記情報

会計方針の変更、重要な偶発事象及び重要な後発事象については、該当する事項はありません。

以上





